1

滋賀県内主要産業動向調査 (2021年度下半期)

【目次】

- 1.繊維···P.3
- 2.化学···P.8
- 3.食料品…P.13
- 4.金属製品···P.18
- 5.一般機械···P.23

- 6. 電気機械…P. 28
- 7.建設···P.33
- 8.小売···P.40
- 9.運輸·通信…P.50
- 10.サービス…P.58
- 【参考データ】···P.64

2022年2月 (株)しがぎん経済文化センター (産業・市場調査部)



₿総合評価

天気マークによる評価(業況判断DI)

業種名	現状	見通し
	(21/10-12)	(22/1-3)
繊維	*	*
化学	•	•
食料品	*	•
金属製品	•	•
一般機械	*	•
電気機械	•	•
建設	•	*
小売	lack	•
運輸・通信	•	•
サービス	×	*

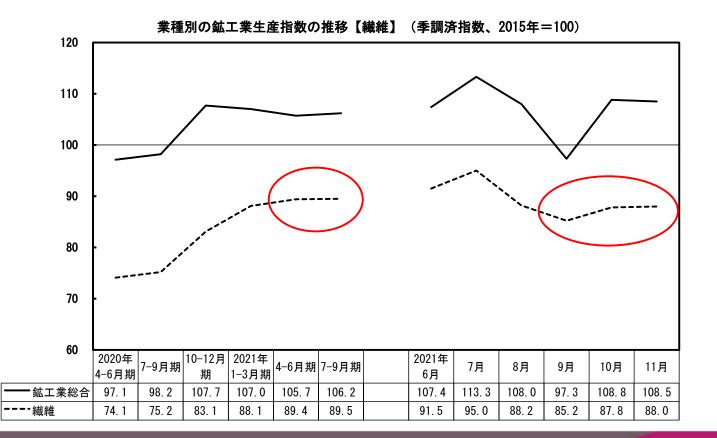
【参考】天気マークの概要

		参考DI指数
晴れ	*	61~100
薄日	*	21~60
曇り	•	▲20~20
小雨	4	▲21~▲60
雨	T	▲61~▲100



現状分析:低水準の横ばい傾向で、伸び悩み

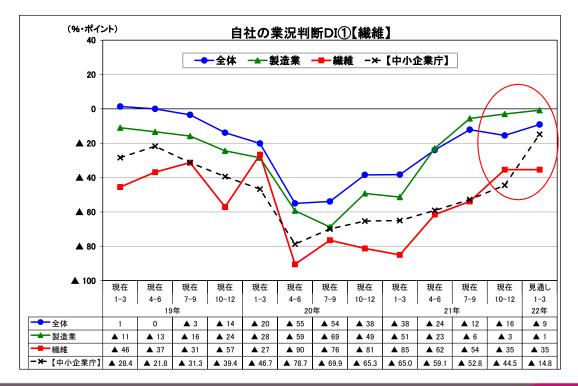
- ・滋賀県統計課が毎月集計、公表している「滋賀県鉱工業指数」(2021年11月速報)の「繊維工業」の生産指数を四半期ごとにみると、21年7-9月期は89.5となり、前期(4-6月期、89.4)からほぼ横ばいで推移している。
- ・月次で最近の動きをみると、7月をピークに(95.0)水準は低下し、その後横ばい傾向がみられ、伸び 悩んでいる。





アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

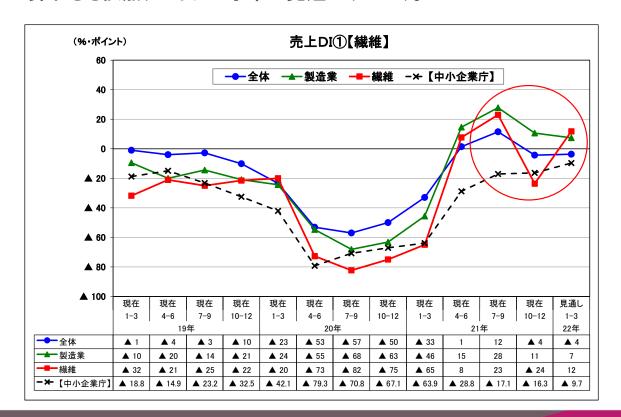
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「繊維」(n=17)は▲35となり、 1-3月期(▲85)を底にして上昇しているものの、依然、水準は低い。
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「繊維」(n=407)は▲44.5となり、20年4-6月期
 (▲78.7)を底に緩やかに上昇しているが、低水準にとどまっている。なお、水準はともにマイナス水準だが、県内企業のほうが高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は低水準のまま横ばい(▲35)、一方、中小企業景況調査では大幅上昇する見込み(▲14.8)。





アンケート調査分析②:売上DI

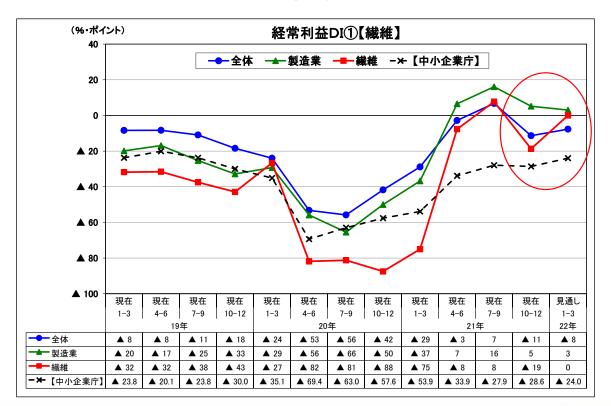
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲24となり、前期(7-9月期、23)に 比べ大幅下落し、プラスからマイナスに反転した。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲16.3となり、前期(▲17.1)に比べわずかに上昇したものの、 依然マイナス水準にある。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は再び上昇しプラスとなるが(+12)、中小企業 景況調査では上昇するも依然、マイナス水準の見込み(▲9.7)。





アンケート調査分析③:経常利益DI

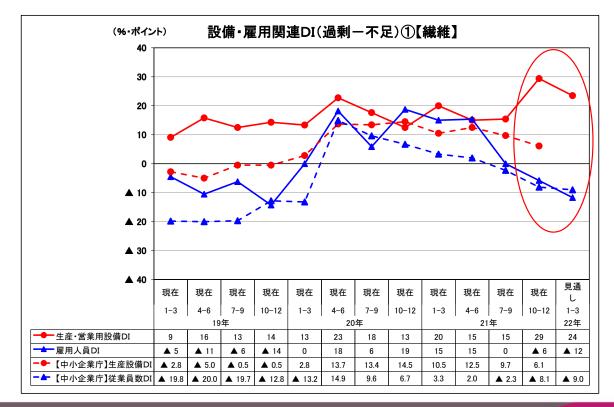
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲19となり、前期(7-9月期、8)から 一転、マイナスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲28.6となり、前期(▲27.9)に比べやや低下し、水準はともにマイナスだが、県内企業より低い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅上昇し、持ち合いとなったが(0)、中小企業況調査ではやや上昇するも、依然マイナス水準の見込み(▲24.0)。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

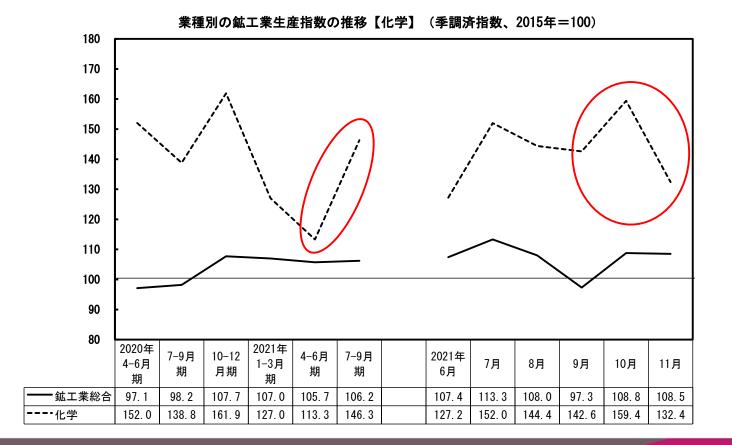
- ・「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では29となり、過剰感は さらに強まった。一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」では6.1となり、過剰感はやや和らいでいる。 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の過剰感はやや和らぐものの、依然強い(24)。
- -「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲6となり、19年10-12月期(▲14)以来の不足感となった。中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲8.1となり、不足感が強まった。 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感はさらに強まり(▲12)、中小企業景況調査でも不足感がやや強まる見込み(▲9.0)。





現状分析:引き続き高水準で推移

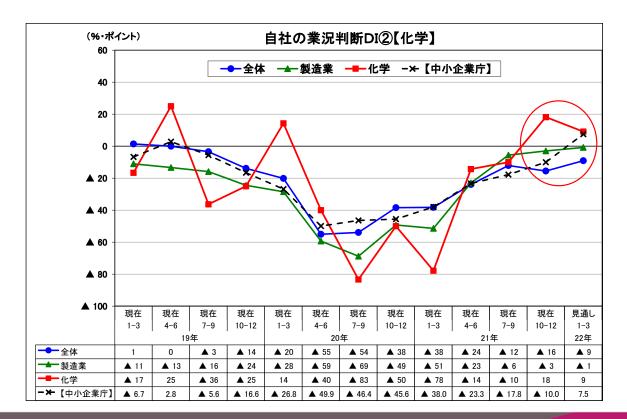
- •「化学工業」の生産指数を四半期ごとにみると、21年7-9月期は146.3となり、やや低下した前期(4-6月期、113.3)から再び上昇し、高水準となっている。
- ・月次で最近の動きをみると、直近の11月は132.4となり、前月(159.4)に比べ大幅に低下するも、引き続き高水準で推移している。





アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

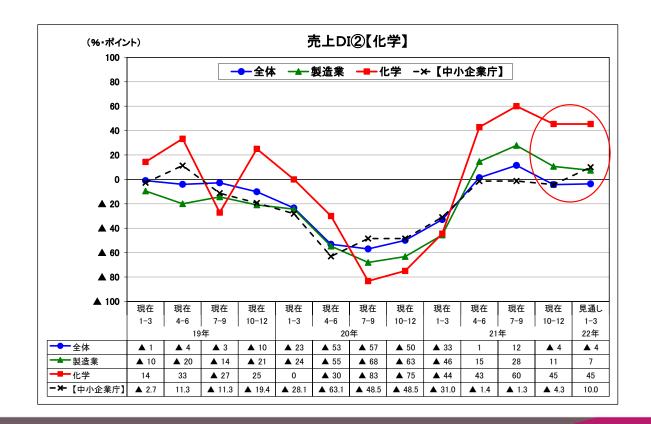
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「化学」(n=11)は18となり、前期(7-9月期、▲10)から大幅上昇し、一転、プラスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「化学」(n=70)は▲10.0となり、前期 (▲17.8)に比べ上昇しているが、依然マイナス水準で推移している。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、**県内企業はプラス水準ながらやや低下(9)**、中小企業景 況調査では19年4-6月期(2.8)以来のプラスとなる見込み(7.5)。





アンケート調査分析②:売上DI

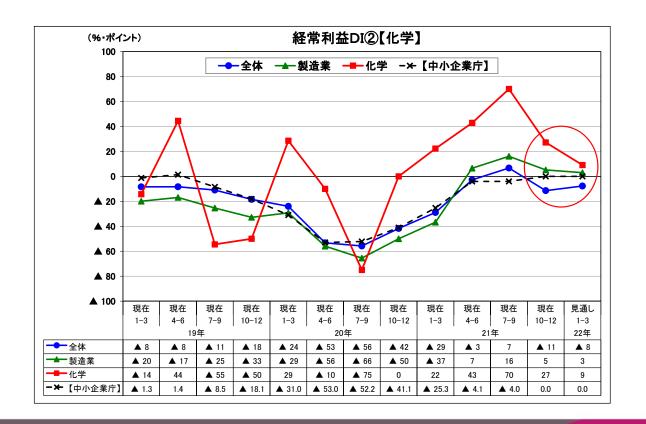
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では45となり、前期(7-9月期、60)に比べやや低下するも、引き続き高水準で推移している。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲4.3となり、前期(▲1.3)に比べやや低下した。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、**県内企業は横ばいで推移し(45)**、中小企業景況調査では 大幅上昇し、19年4-6月期(11.3)以来のプラスとなる見込み(10.0)。





アンケート調査分析③:経常利益DI

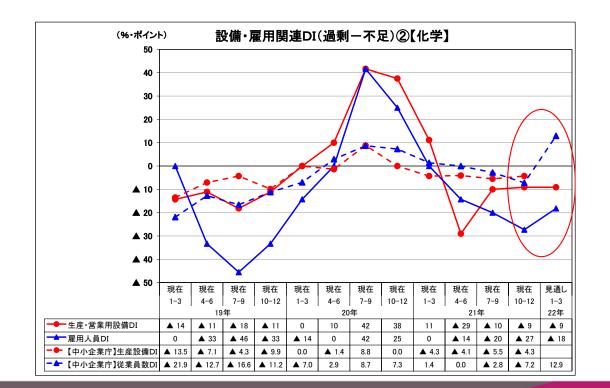
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では27となり、前期(70)から大幅低下するも、依然プラス水準を維持。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では持ち合いの0.0となり、前期(▲4.0)に比べ上昇した。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、<mark>県内企業はさらに低下するが(9)</mark>、中小企業景況調査では 横ばいの見込み(0.0)。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

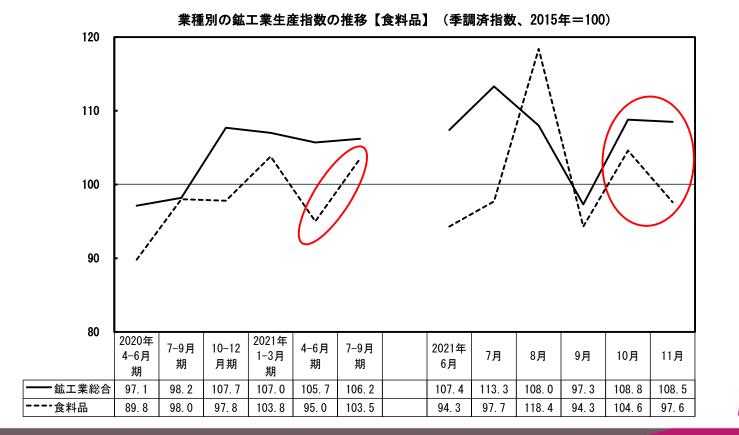
- 「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲9となり、不足感は ほぼ横ばいとなった。中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲4.3となり、不足感は前期(▲5.5)よりやや和ら いだ。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感は横ばいの見込み(▲9)。
- -「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲27となり、前期(▲20)に比べ不足感が強まった。中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲7.2となり、前期(▲2.8)に比べ不足感が強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感はやや和らぐものの(▲18)、中小企業景況調査では一転、過剰となる見込み(12.9)。





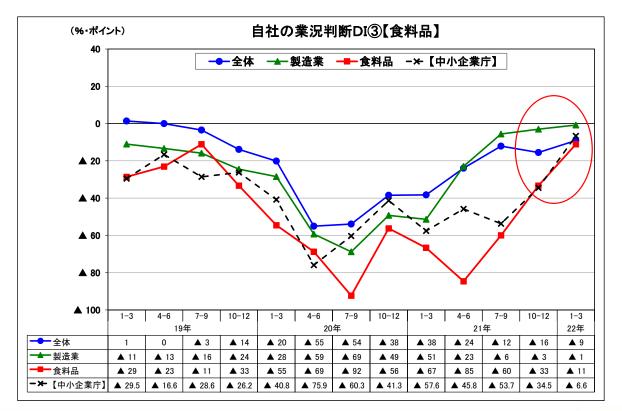
現状分析:一進一退で伸び悩み

- •「食料品工業」の生産指数を四半期ごとにみると、21年4-6月期は低下し、100の基準を下回ったが (95.0)、7-9月期は再び上回り(103.5)、一進一退で推移している。
- ・月次で最近の動きをみると、10月は100の基準を上回ったものの(104.6)、11月は再び下回り(97.6)、 一進一退で伸び悩んでいる。



アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

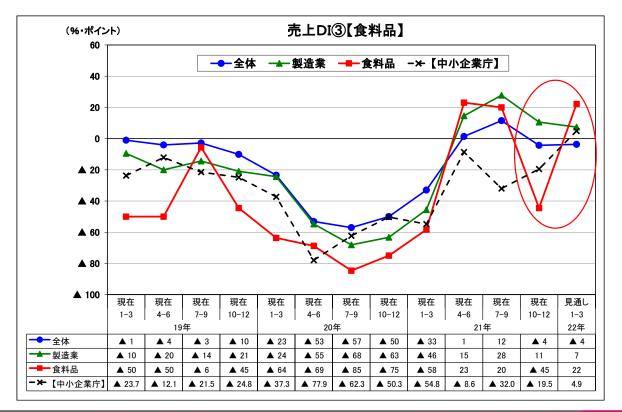
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「食料品」(n=9)は▲33となり、 前期(7-9月期、▲60)に比べ大幅上昇したものの、依然水準はマイナス。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「食料品」(n=943)は▲34.5となり、前期(▲53.7)に比べ上昇したものの、水準は依然低い。なお、水準はともにマイナスで県内企業とほぼ同じ。
- 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業はさらに上昇し(▲11)、中小企業景況調査でも上昇する見込み(▲6.6)。





アンケート調査分析②:売上DI

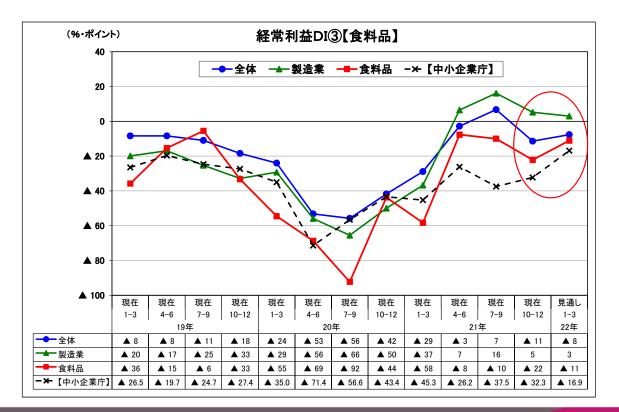
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲45となり、前期(7-9月期、20)に比べ大幅低下し、マイナスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲19.5となり、前期(▲32.0)に比べ上昇したものの、依然マイナス水準。なお、水準はともにマイナスで県内企業のほうが低い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業、中小企業景況調査ともに大幅に上昇し、プラスに転じる見込み(順に22、4.9)。





アンケート調査分析③:経常利益DI

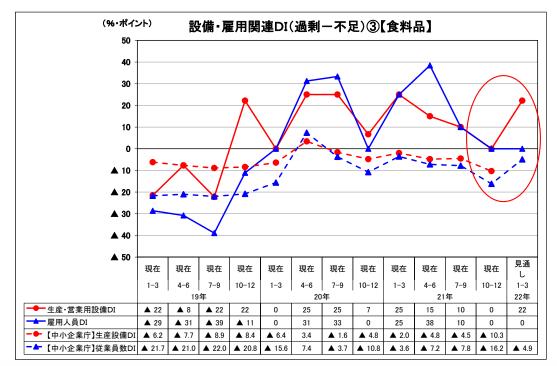
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲22となり、前期(▲10)から大幅低下。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲32.3となり、前期(▲37.5)に比べやや上昇したものの、依然低水準。水準はともにマイナスだが県内企業のほうが高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業、中小企業景況調査ともに上昇するも、依然マイナスの見込み(順に▲11、▲16.9)。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

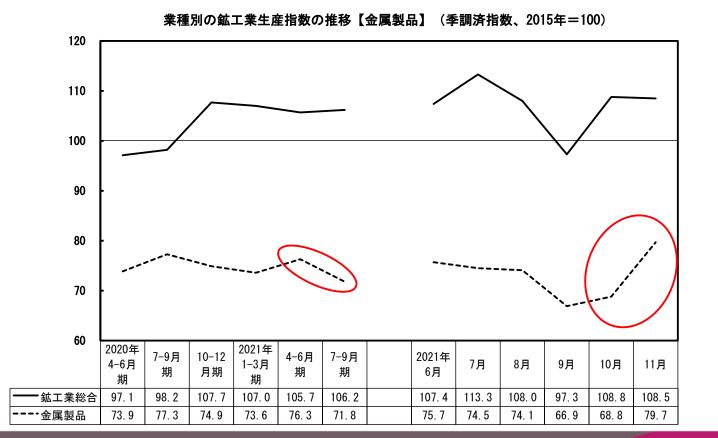
- ・「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では持ち合いのOとなり、 過剰感は前期(10)に比べ弱まった。一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲10.3となり、不足感は 前期(▲4.5)に比べ強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業では再び過剰感が出てくる 見込み(22)。
- -「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では持ち合いの0となり、前期 (10)に比べると過剰感は弱まった。中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲16.2となり、不足感はさらに強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は持ち合いで横ばい(0)、中小企業景況調査では不足感がやや弱まる見込み(▲4.9)。





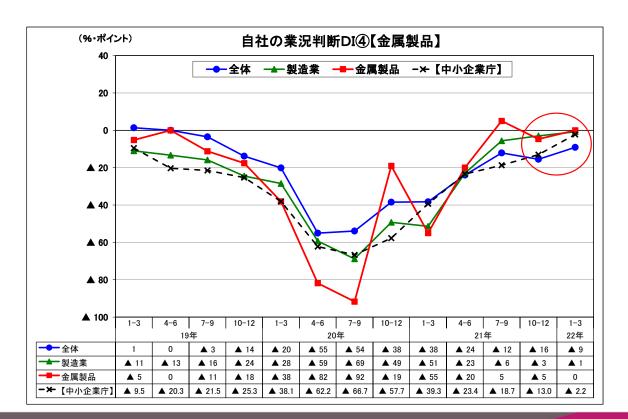
現状分析:依然として低水準が続く

- ・「金属製品工業」の生産指数を四半期ごとにみると、21年7-9月期は71.8となり、前期(4-6月期、76.3)に比べ低下し、引き続き低水準で推移している。
- •月次で最近の動きをみると、9月を底に(66.9)上昇しているものの、依然として低水準が続いている。



アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

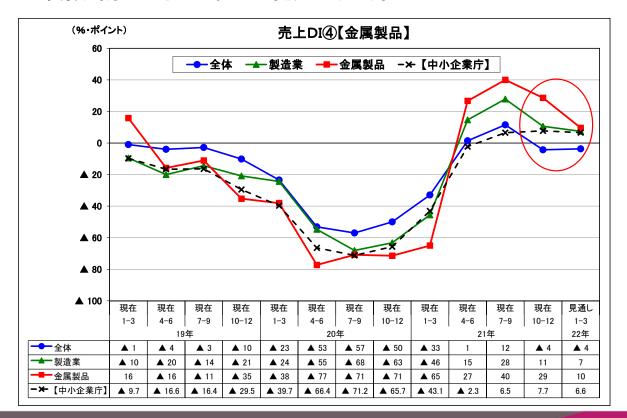
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「金属製品」(n=21)は▲5となり、 前期(7-9月期、5)から一転、マイナスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「金属製品」(n=481)は▲13.0となり、20年7-9月期を底に(▲66.7)、緩やかに上昇。なお、水準はともにマイナスだが県内企業のほうが高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、<mark>県内企業は再び上昇し持ち合いになるも(0)、</mark>中小企業景況 調査では上昇するが、依然マイナス水準にとどまる見込み(▲2.2)。





アンケート調査分析②:売上DI

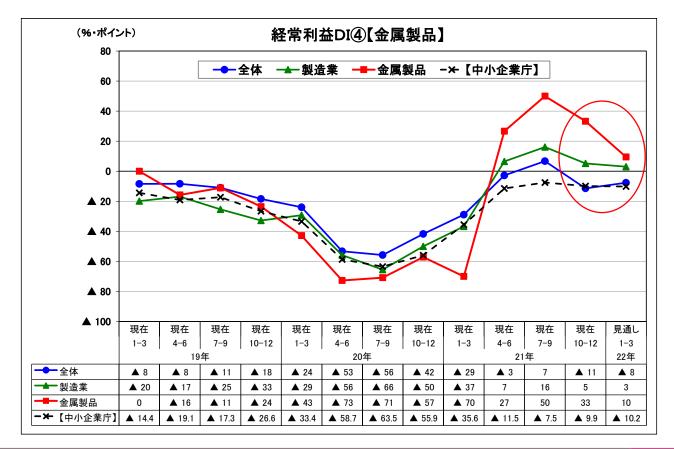
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では29となり、前期(7-9月期、40)から 大幅低下するも、依然プラス水準を維持し、堅調に推移している。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では7.7となり、プラス水準となった前期(6.5)からさらに上昇。 なお、水準は県内企業のほうが高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業はプラス水準を維持するも、2四半期連続で低下し(10)、中小企業景況調査でもやや低下の見込み(6.6)。





アンケート調査分析③:経常利益DI

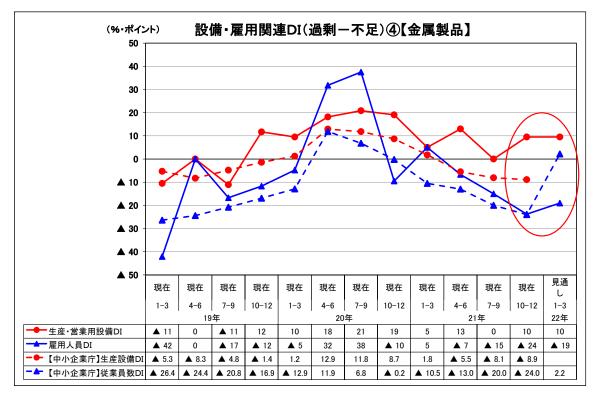
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では33となり、前期(7-9月期、50)から 大幅低下するも、依然プラス水準を維持している。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲9.9となり、マイナス幅がやや拡大。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業はプラス水準にあるものの、前期に続き低下し (10)、中小企業景況調査でも低下し、マイナス幅がやや拡大する見込み(▲10.2)。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

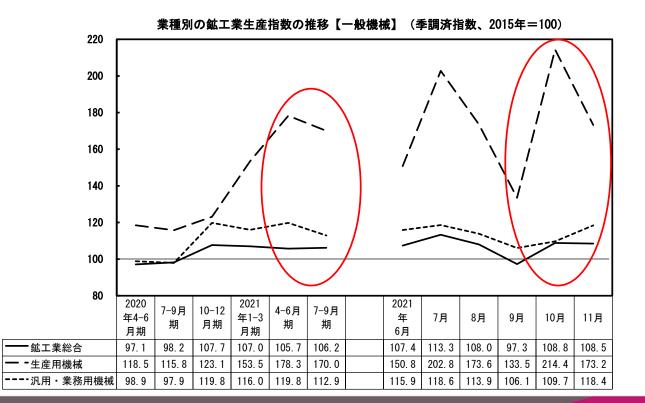
- ・「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では10となり、再び過剰となった。一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲8.9となり、引き続き不足感がみられる。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の過剰感は横ばいの見込み(10)。
- -「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲24となり、不足感がさらに強まった。中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲24.0となり、不足感が強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感はやや弱まり(▲19)、中小企業景況調査では一転、過剰感がみられる見込み(2.2)。





現状分析:「生産用機械」は高水準で推移

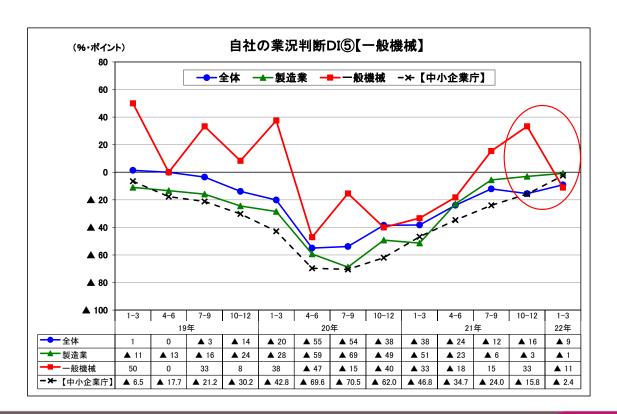
- -一般機械関連の「生産用機械工業」の生産指数を四半期ごとにみると、20年7-9月期を底にして(115.8)、大幅に上昇し、高水準が続いている(21年7-9月期:170.0)。月次で最近の動きをみると、11月は173.2と前月(214.4)に比べ低下したものの水準は高い。
- •「汎用・業務用機械工業」の生産指数を四半期ごとにみると、20年10-12月期以降(119.8)、100の基準を上回っているものの、横ばいで推移している。月次で最近の動きをみると、9月を底にして(106.1)、上昇している(11月:118.4)。





アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

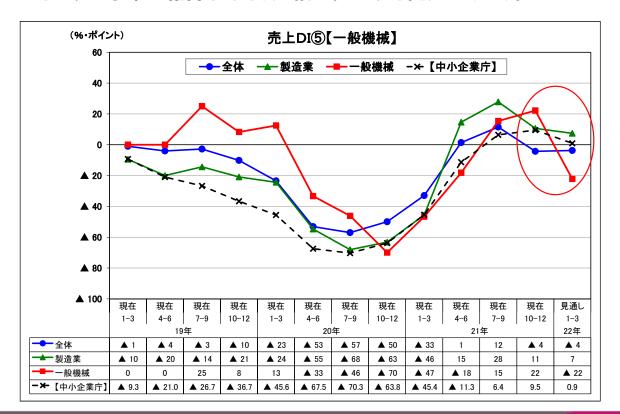
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「一般機械」(n=9)は33となり、 前期(7-9月期、15)に続き大幅に上昇した。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「機械器具」(n=559)は▲15.8となり、20年4ー6月期 (▲69.6)、翌7ー9月期(▲70.5)を底に、緩やかに上昇している。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は一転、悪化し、再びマイナスとなる見込み (▲11)。一方、中小企業景況調査では引き続き緩やかに上昇する見込み(▲2.4)。





アンケート調査分析②:売上DI

- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では22となり、前期(7-9月期、15)に続き 上昇した。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では9.5となり、これも前期(6.4)に続き上昇した。なお、水準は県内企業のほうが高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は一転、低下し、再びマイナスとなり(▲22)、中小企業景況調査でもプラス水準は維持するも、大幅に低下する見込み(0.9)。

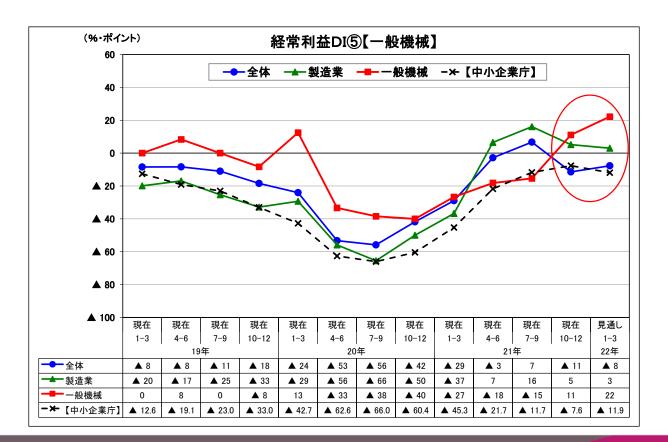




▮5.一般機械

アンケート調査分析③:経常利益DI

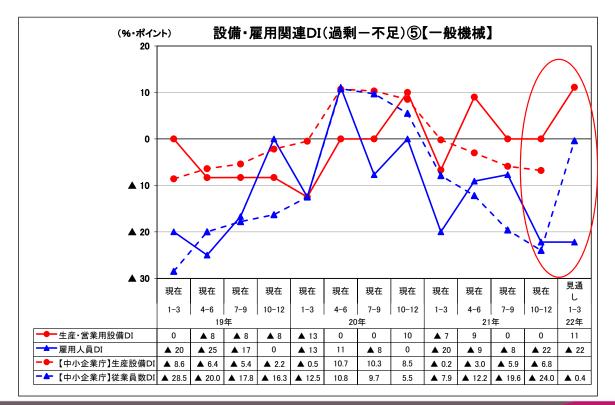
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では11となり、前期(7-9月期、▲15)から大幅に上昇し、一転プラスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲7.6となり、マイナス水準ながら上昇した。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、**県内企業は引き続き大幅に上昇するも(22)**、中小企業景 況調査では低下し、マイナス幅が拡大する見込み(▲11.9)。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

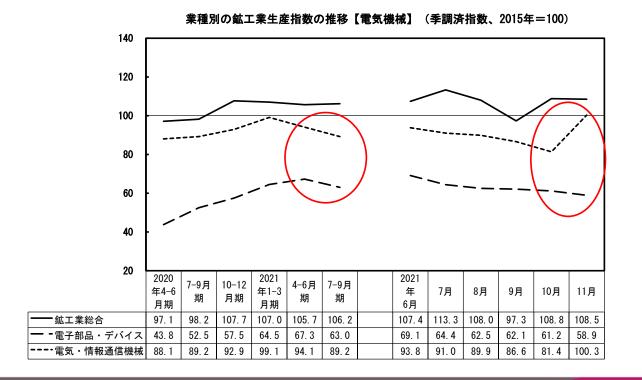
- ・「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では前期に続き持ち合い(0)となっている。中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲6.8となり、不足感がやや強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業では過剰感がでてくる見込み(11)。
- -「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲22となり、不足感が強まった。中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲24.0となり、不足感が強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業では不足感は横ばいの見込みだが(▲22)、中小企業景況調査では不足感は弱まる見込み(▲0.4)。





現状分析:「電子部品・デバイス工業」は低下傾向がみられ、低水準が続く

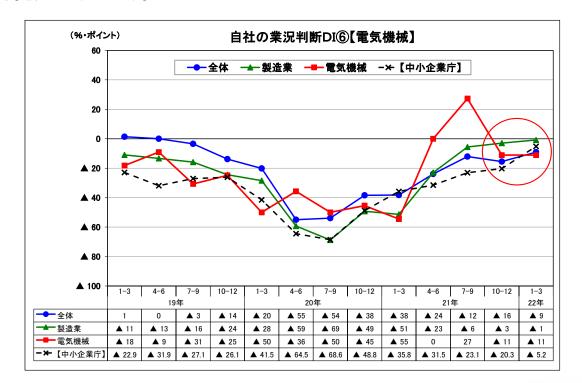
- ・電気機械 関連の「電子部品・デバイス工業」の生産指数を四半期ごとにみると、21年7-9月期は63.0となり、低水準で伸び悩んでいる。月次で最近の動きをみると、低下傾向がみられ、低水準が続いている。
- •「電気・情報通信機械工業」の生産指数を四半期ごとにみると、21年1−3月期(99.1)をピークに低下傾向がみられる。しかし、月次で最近の動きをみると、11月は100.3となり、3月(102.0)以来、8か月ぶりに100の基準を上回った。



BKEIBUD

アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

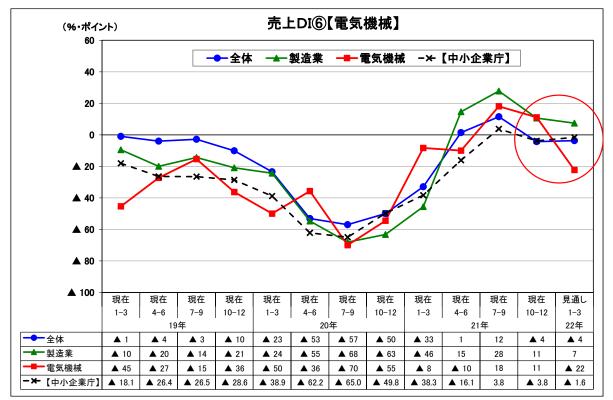
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「電気機械」(n=9)は▲11で、 前期(7-9月期、27)から大幅低下し、一転、マイナスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「電気・情報通信機械器具・電子部品」(n=184)は▲20.3 となり、20年7-9月期を底に(▲68.6)、緩やかに上昇している。なお、水準はともにマイナスだが、県内企業のほうが高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は横ばい(▲11)、中小企業景況調査ではマイナ 水準だが上昇する見込み(▲5.2)。





アンケート調査分析②:売上DI

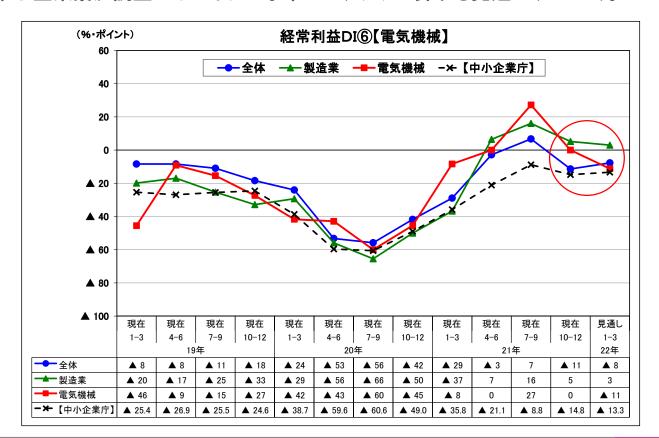
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では11となり、前期(7-9月期、18)に 比べやや低下したものの、プラス水準を維持した。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲3.8となり、前期(3.8)から一転、マイナスとなった。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業では大幅に低下し、一転、マイナスとなる見込み (▲22)。一方、中小企業景況調査ではマイナス水準だがやや上昇し、マイナス幅が縮小する見込み (▲1.6)。





アンケート調査分析③:経常利益DI

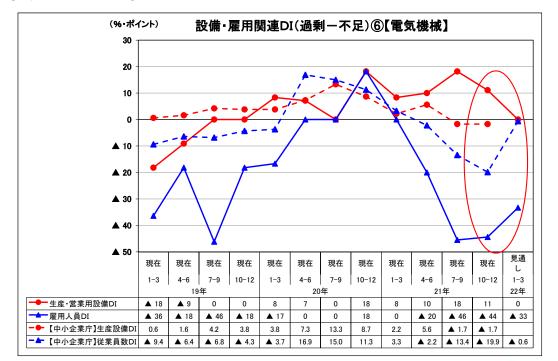
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では持ち合いの0となり、前期(7-9月期、27)から大幅に低下した。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲14.8となり、前期(▲8.8)から低下した。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅に低下し、マイナスとなる見込み(▲11)。一方、中小企業景況調査ではマイナス水準だが、やや上昇する見込み(▲13.3)。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

- -「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では11となり、引き続き 過剰感が強いが、前期(7-9月期、18)に比べるとやや弱まった。一方、中小企業庁の「中小企業景況調 査」では▲1.7となり、引き続き弱い不足感がみられる。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業 は持ち合いの0となり、過剰感はなくなる見込み。
- 「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲44となり、引き続き不足 感が強い。中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲19.9となり、不足感が強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感はやや緩和するも、依然強いが(▲33)、中小企業景況調査では 不足感はかなり弱まる見込み(▲0.6)。

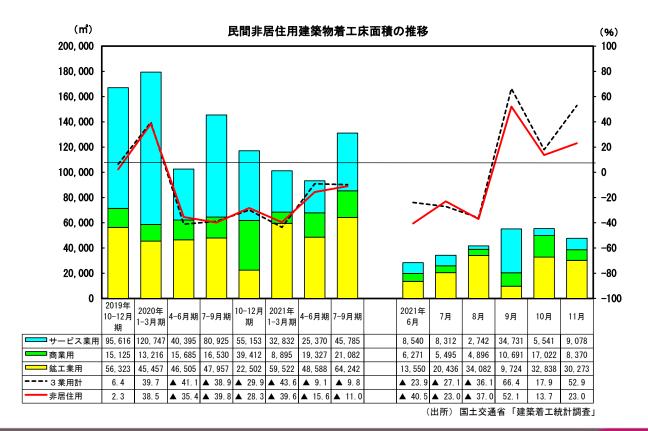




7.建設

現状分析①:「非居住用建築物着工床面積」は3か月連続で大幅増加

- ・県内の「民間非居住用建築物着工床面積」(21年11月)は54,024㎡、前年同月比+23.0%で、 3か月連続の大幅増加となっている。
- ・用途別にみると、「サービス業用」は2か月連続で大幅減少したものの(9,078㎡、同▲29.4%)、「鉱工業用」(30,273㎡、同+104.5%)と「商業用」(8,370㎡、同+135.2%)がともに4か月連続の大幅増加となっているため、この3業用計では3か月連続で大幅増加(47,721㎡、同+52.9%)。

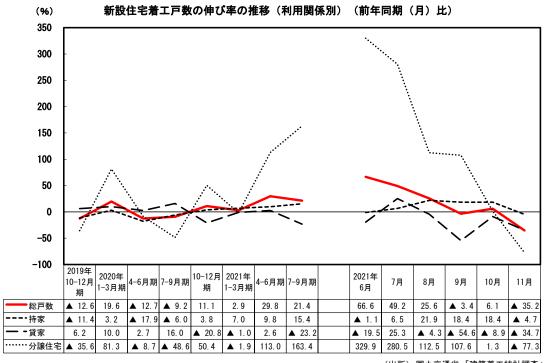




7.建設

現状分析②:「新設住宅着工戸数」は2か月ぶりに大幅減少

- ・県内の「新設住宅着工戸数」(21年11月)は823戸、前年同月比▲35.2%となり、2か月ぶりに大幅減少した。
- ・利用関係別では、「持家」は407戸、同▲4.7%で5か月ぶりに減少し、「貸家」は173戸、同 ▲34.7%で4か月連続かつ大幅減少している。「分譲住宅」も86戸、同▲77.3%で7か月ぶりに 大幅減少し、うち「一戸建て」は86戸で2か月連続かつ大幅減少(前年差▲34戸)、「分譲マン ション」は0戸で6か月ぶりに申請がなかった。「給与住宅」は157戸。



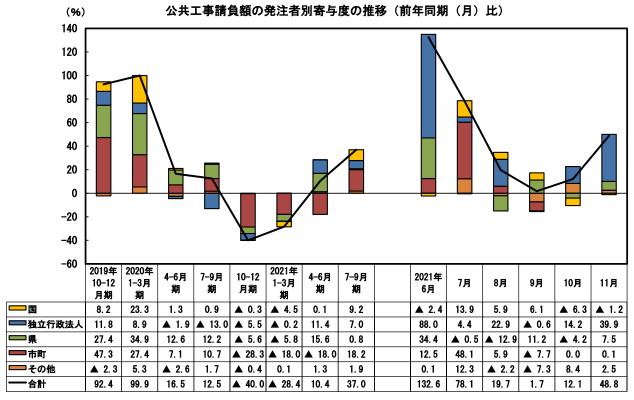


(出所) 国土交通省「建築着工統計調査

₹7.建設

現状分析③:公共工事の「請負金額」は7か月連続かつ大幅に増加

•西日本建設業保証㈱の保証による県内の公共工事の保証件数(21年11月)は206件、前年同月比+5.1%で、2か月連続で増加している。請負金額は約93億円、同+48.8%で、7か月連続かつ大幅に増加。



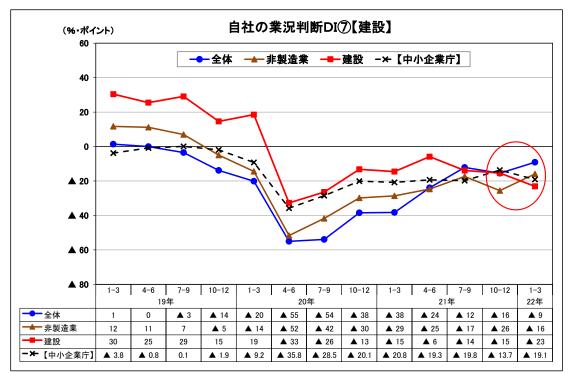


(出所) 西日本建設業保証(株) 「滋賀県の公共工事動向」

7.建設

アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「建設業」(n=52)は▲15となり、前期(7-9月期、▲14)に比べほぼ横ばいで推移し、悪化が続いている。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「建設業」(n=2,354)は▲13.7となり、前期(▲19.8)に比べやや上昇したものの、依然マイナス水準で推移している。なお、水準はともにマイナスだが、県内企業のほうがやや低い。
- 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業はさらに悪化(▲23)、中小企業景況調査でも再び悪化の見込み(▲19.1)。

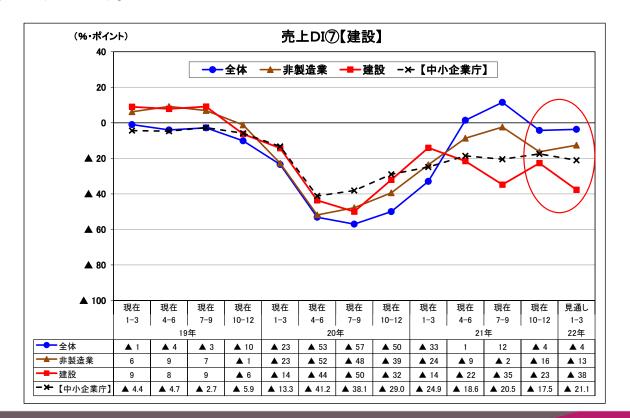




■7.建設

アンケート調査分析②:売上DI

- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲23となり、前期(7-9月期、▲35) に比べ上昇したが、依然マイナス水準で推移している。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲17.5となり、これも前期(▲20.5)に比べやや上昇しているものの、依然、マイナス水準。なお、水準はともにマイナスだが県内企業のほうが低い。
- 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は再び大きく低下(▲38)、中小企業景況調査でも低下の見込み(▲21.1)。

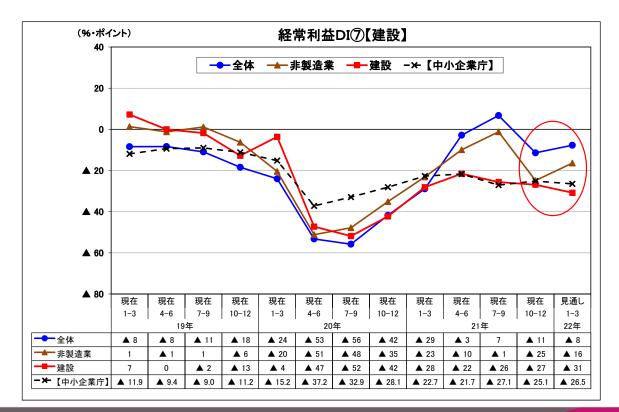




■7.建設

アンケート調査分析③:経常利益DI

- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲27となり、前期(7-9月期、▲26) に比べほぼ横ばいで推移し、マイナス水準が続いている。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲25.1となり、前期(▲27.1)に比べやや上昇したが、依然、マイナス水準。水準はともにマイナスだが、県内企業のほうがやや低い。
- 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業はさらに低下(▲31)、中小企業景況調査でもや や低下の見込み(▲26.5)。

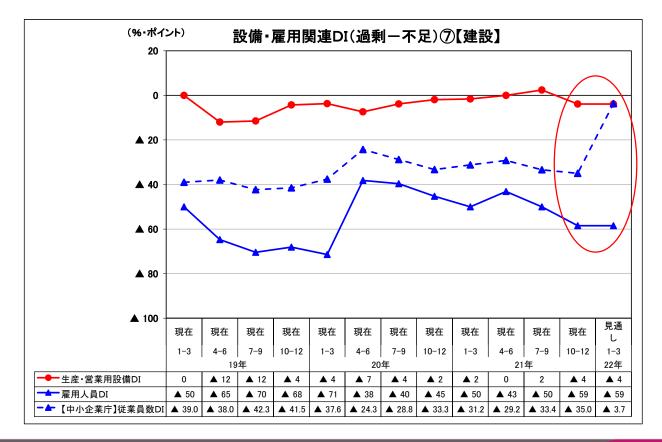




₹7.建設

アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

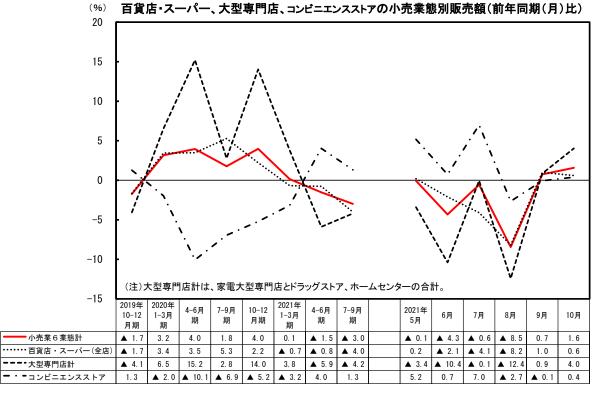
- ・「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲4となり、やや不足となった。。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感は横ばい(▲4)。
- 「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲59となり、不足感は一層、強まっている。中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲35.0となり、不足感は強い。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感は横ばい(▲59)、一方、中小企業景況調査では不足感は大きく弱まる見込み(▲3.7)。





現状分析①:6業態計では2か月連続で増加

- •「小売業6業態計売上高」(21年10月)は43,952百万円、前年同月比+1.6%となり、2か月連続で前年を上回り、一昨年との比較でも3か月ぶりにプラスとなった(+6.2%)。
- •「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象102店舗)」(11月)は、20,959百万円、同+0.6%となり、2か月連続で増加。

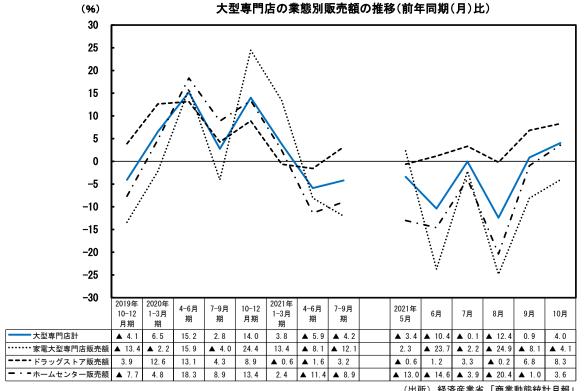




(出所) 経済産業省「商業動態統計月報」、近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況(近畿地域)」

現状分析②:「ドラッグストア」と「ホームセンター」で増加

- ・大型専門店では、ウエイトの高い「ドラッグストア」(全店ベース=店舗調整前、21年10月、225 店舗)は7.119百万円、同+8.3%で、2か月連続で増加し、「ホームセンター」(同64店舗)も 3.370百万円、同+3.6%で、8か月ぶりに増加したが、「家電大型専門店」(同41店舗)は3.142 百万円、同▲4.1%となり5か月連続で減少している。
- 「コンビニエンスストア」(同555店舗)は9,362百万円、同+0.4%となり、3か月ぶりに増加した。

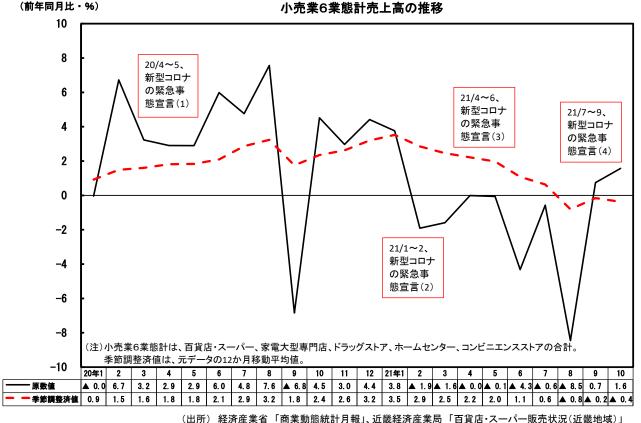




(出所) 経済産業省「商業動態統計月報」

現状分析③:季節要素を排除すると、伸び悩みが続く

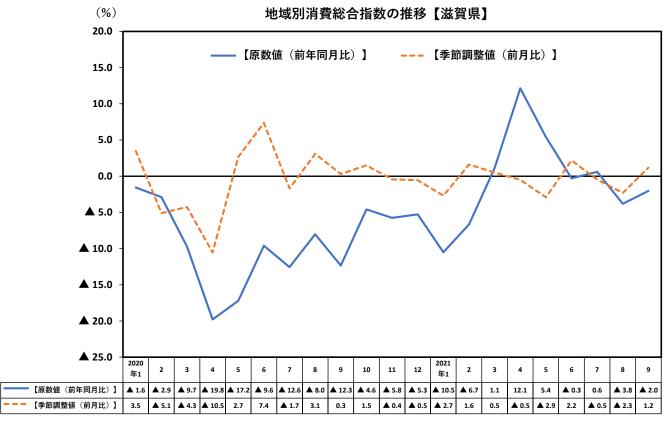
季節要素を除去した12か月移動平均値をみると、21年1月をピークに(同+3.5%)低下傾向に あり、直近3か月は連続してマイナスとなり、伸び悩みが続いている(10月:同▲0.4%)。





現状分析4:「地域別消費総合指数」は伸び悩んでいる

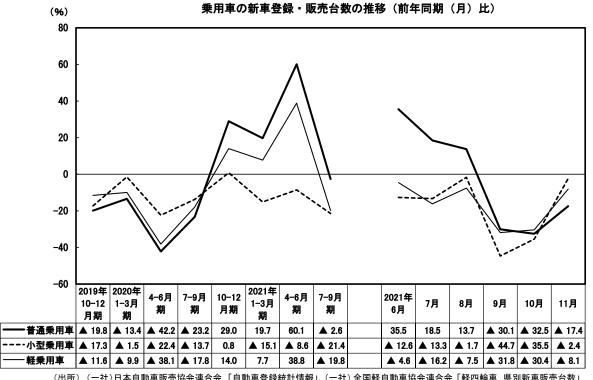
・消費支出の総合的な動向を把握するための指数である「地域別消費総合指数」をみると、原数値は 21年4月(前年同月比+12.1%)をピークに低下し、直近2か月はマイナスとなり、伸び悩んでいる。 季節調整値 は引き続き一進一退で推移している。





現状分析⑤:「乗用車」と「軽乗用車」の登録・販売台数は3か月連続で大幅減少

- 「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(21年11月)は、「小型乗用車(5、7ナンバー車)」 が13か月連続で減少しているのに加え(985台、前年同月比▲2.4%)、「普通乗用車(3ナン バー車)」も3か月連続で大幅減少しているため(1.515台、同▲17.4%)、2車種合計では3か 月連続で大幅減少となっている(2.500台、同▲12.1%)。
- 「軽乗用車」も6か月連続で減少しているため(1.733台、同▲8.1%)、これら3車種の合計では 3か月連続で大幅減少(4.233台、同▲10.5%)。

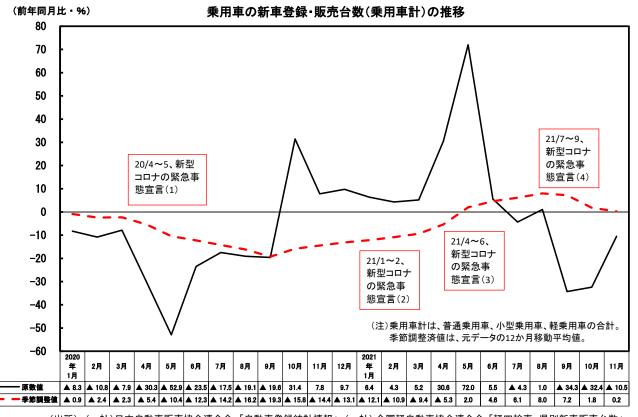




(出所)(一社)日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」、(一社)全国軽自動車協会連合会「軽四輪車

現状分析⑥:季節要素を排除すると、プラスが続くも伸び率は鈍化

- ・季節要素を除去した12か月移動平均値をみると、20年9月(同▲19.3%)を底にして緩やかな増加傾向がみられ、7か月連続でプラスとなっているが、伸び率は鈍化(11月:同+0.2%)。
- •これは、世界的な半導体不足の影響と部品供給の停滞といったサプライチェーンの問題が 残っているためとみられる。

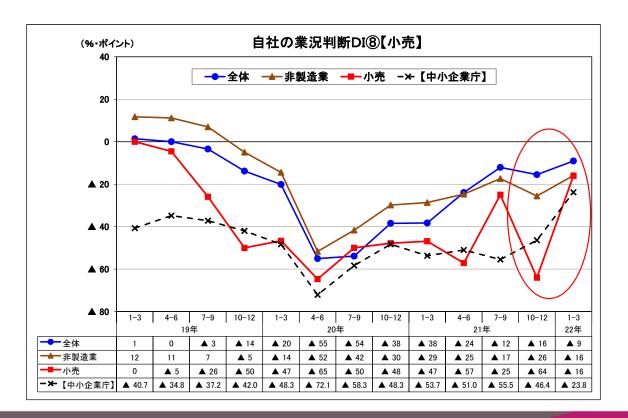




(出所) (一社)日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」、(一社)全国軽自動車協会連合会「軽四輪車 県別新車販売台数」

アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

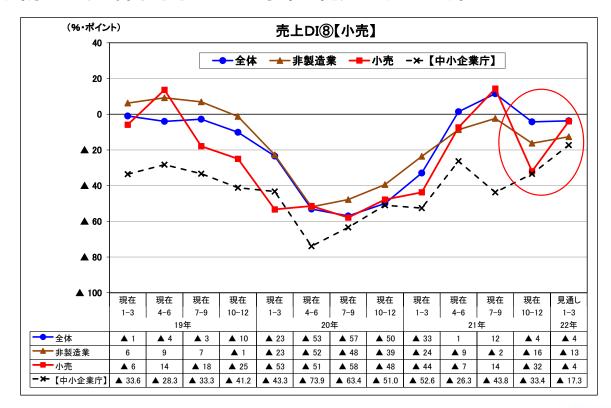
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「小売」(n=25)は▲64となり、 前期(7-9月期、▲25)に比べ大幅に低下した。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「小売業」(n=4,431)は▲46.4となり、低水準で推移している。なお、水準はともにマイナスだが、県内企業のほうが低い。
- 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅に上昇するも低水準(▲16)、中小企業景 況調査でも低水準のなかで上昇の見通し(▲23.8)。





アンケート調査分析②:売上DI

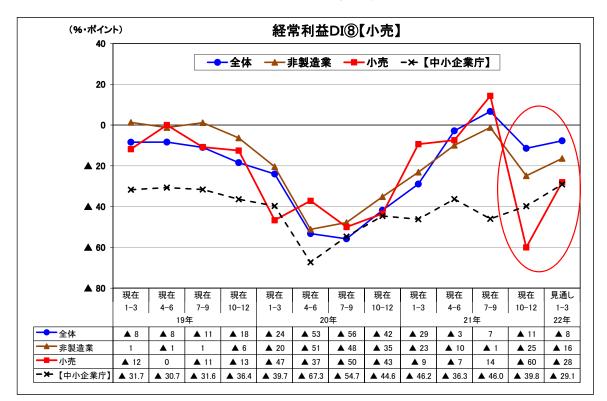
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲32となり、前期(7-9月期、14)から大幅に低下し、一転、マイナスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲33.4となり、前期(▲43.8)に比べ上昇したが、引き続き低水準。なお、水準はともにマイナスだが、県内企業のほうがやや高い。
- 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅に上昇するも、依然マイナス水準(▲4)、 中小企業景況調査でも上昇するもマイナス水準の見込み(▲17.3)。





アンケート調査分析③:経常利益DI

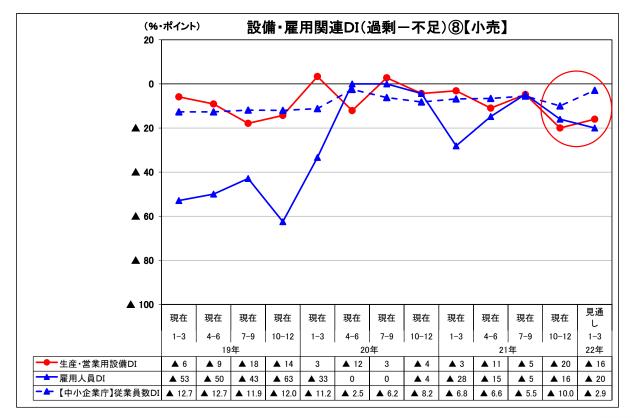
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲60となり、前期(7-9月期、14)から大幅低下し、一転して極めて低い水準となった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲39.8となり、やや上昇している。なお、水準はともにマイナスで、県内企業のほうが低い。
- 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅に上昇するも、依然低水準(▲28)、中小企業景況調査ではやや上昇するも、これも依然低水準の見込み(▲29.1)。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

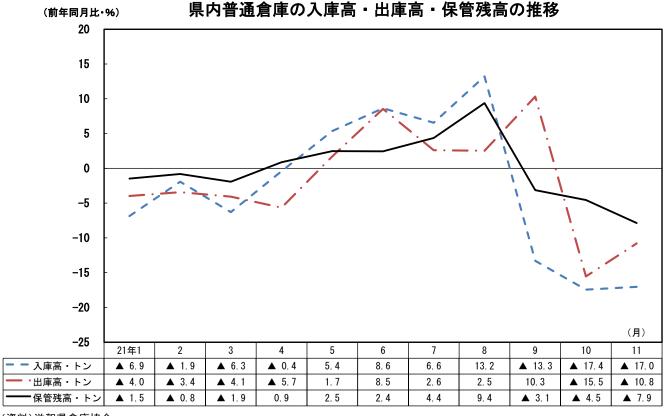
- ・「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲20となり、不足感が強まった。来期(22年1-3期)の見通しをみると、県内企業は▲16となり、不足感がやや緩和する見込み。
- -「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲16となり、不足感が強まった。中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲10.0となり、これも不足感が強まった。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業の不足感は一層強まるが(▲20)、中小企業景況調査では不足感が弱まる見込み(▲2.9)。





現状分析①:普通倉庫の「保管残高」は3か月連続で前年比マイナス

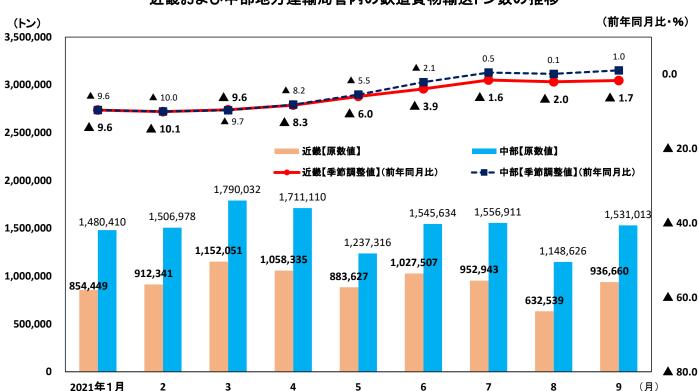
- ・滋賀県倉庫協会に加入の会員企業における普通倉庫の営業データによると、「入庫高」は3か月連続で大幅減少している(11月:同▲17.0%)。
- 「出庫高」も2か月連続で大幅減少(11月:同▲10.8%)。
- この結果、「保管残高」は3か月連続で減少している(11月:同▲7.9%)。





現状分析②:「鉄道貨物」は緩やかな回復傾向だが、伸び悩み

・近畿および中部の各地方運輸局管内のコンテナ貨物と車扱(しゃあつかい)貨物の合計である「鉄道 貨物」は、緩やかな回復傾向がみられ、中部では7月以降プラスとなっているが、近畿では依然マイ ナスで伸び悩んでいる。



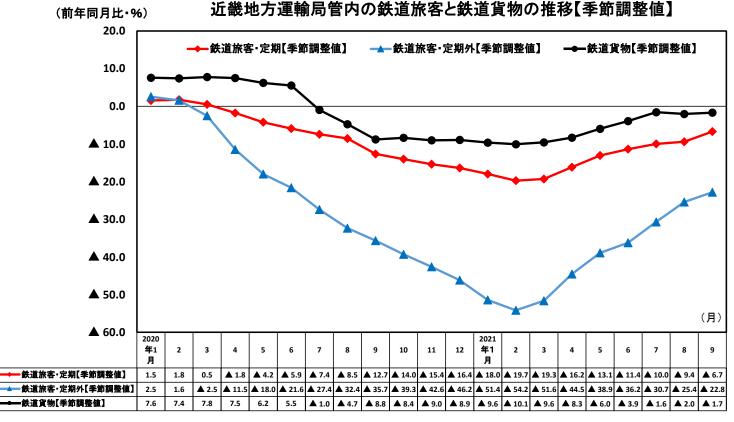
近畿および中部地方運輸局管内の鉄道貨物輸送トン数の推移

(注)季節調整値は元データの12か月移動平均値。 鉄道貨物はコンテナ貨物と車扱貨物の合計。 (資料)国土交通省「鉄道輸送統計調査」



現状分析③:「鉄道旅客」は回復傾向だが、依然、大幅のマイナス

近畿地方運輸局管内の「鉄道旅客」は、定期、定期外ともに回復傾向がみられるものの、とくに定期外で依然、大幅なマイナスが続いている。



(注)季節調整値は元データの12か月移動平均値。

鉄道旅客は旅客人キロ(単位:千人キロ)、鉄道貨物はコンテナ貨物と車扱貨物の合計(単位:トン)。

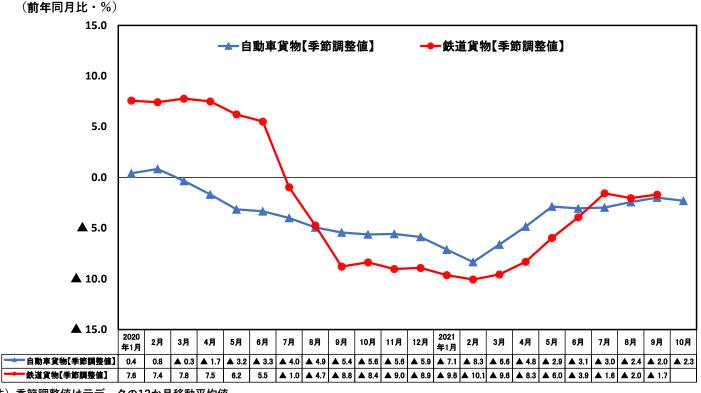
(資料)国土交通省「鉄道輸送統計調査」



現状分析④:「自動車貨物」は回復傾向がみられるものの、依然、マイナス水準

・近畿地方運輸局管内の「自動車貨物」の走行キロ数は、21年2月を底に回復傾向がみられるものの、 依然マイナス水準が続いている。

近畿地方運輸局管内の自動車貨物走行キロ数と鉄道貨物輸送トン数の推移



(注)季節調整値は元データの12か月移動平均値。

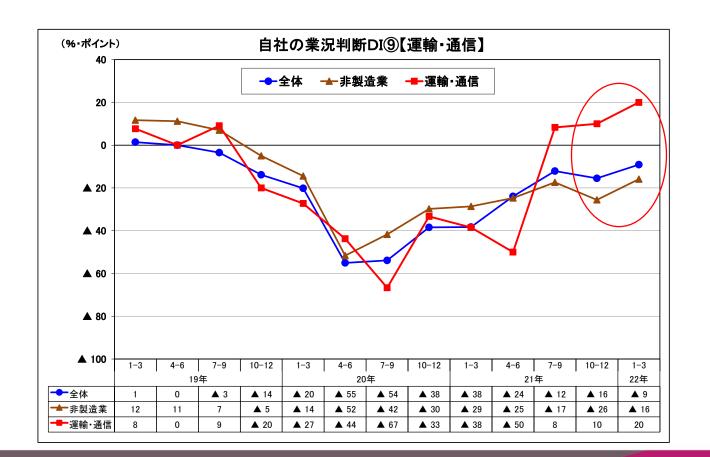
自動車貨物(単位:キロ)は営業用と自家用の合計。鉄道貨物(単位:トン)はコンテナ貨物と車扱貨物の合計。

(資料) 国土交通省「自動車燃料消費量調査」「鉄道輸送統計調査」



アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

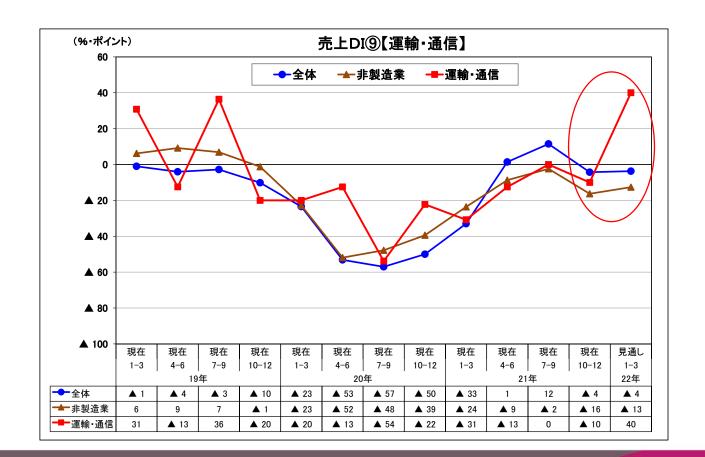
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「運輸・通信」(n=10)は10となり、前期(7-9月期、8)に比べやや上昇した。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業はさらに上昇し(20)、非製造業(▲16)、全体(▲9)の水準を大きく上回る見込み。





アンケート調査分析②:売上DI

- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲10となり、前期(7-9月期、0)に比べ低下し、マイナス水準となった。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅に上昇し、プラス水準となり(40)、非製造業(▲13)、全体(▲4)の水準を大きく上回る見込み。

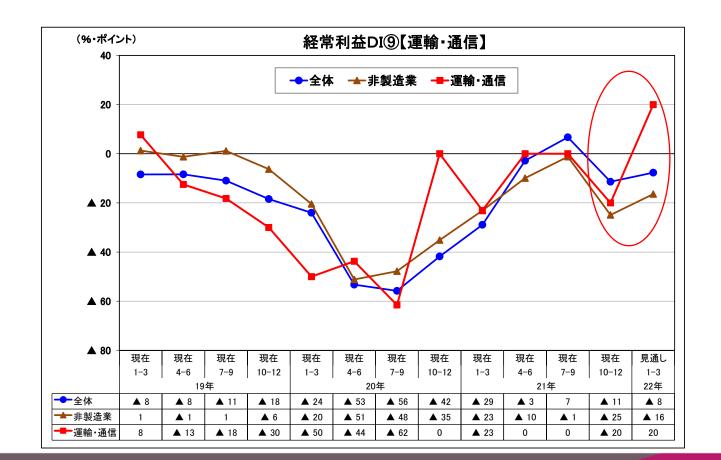




▋9.運輸•通信

アンケート調査分析③:経常利益DI

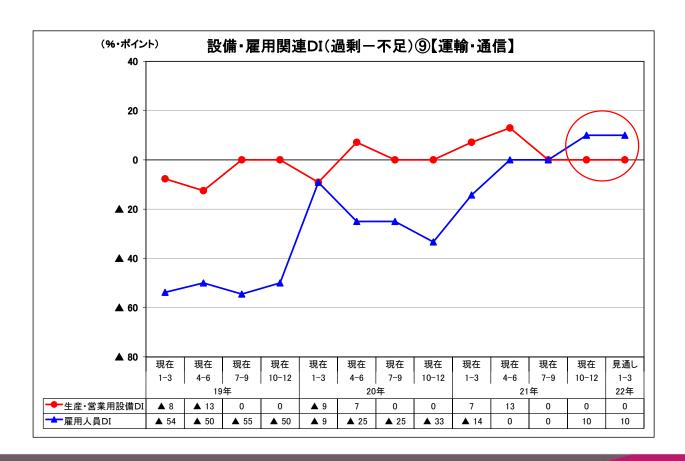
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲20となり、前期(7-9月期、0)に比べ大幅に低下し、マイナス水準となった。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅に上昇し、プラス水準となり(20)、非製造業(▲16)、全体(▲8)の水準を大きく上回る見通し。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

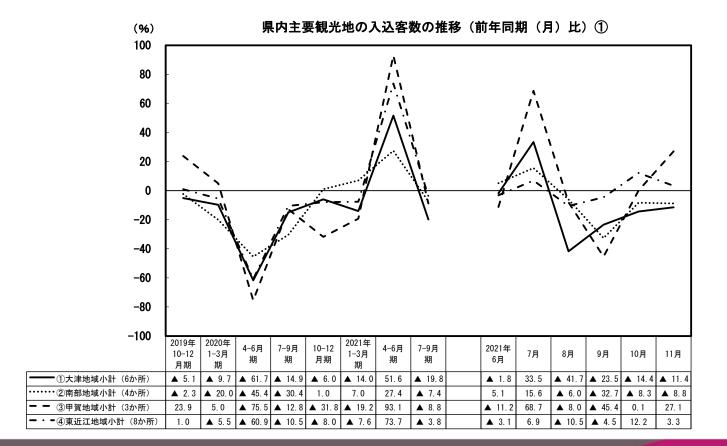
- ・「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では前期に続き持ち合い(0)となっている。来期(22年1-3月期)の見通しも引き続き持ち合い(0)。
- ・「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では10となり、過剰感がでてきた。来期(22年1-3月期)の見通しをみると、横ばいで、過剰感が続く見込み(10)。





現状分析①:「緊急事態宣言」などの全面解除により、徐々に回復するも、 一部で依然マイナスが続く

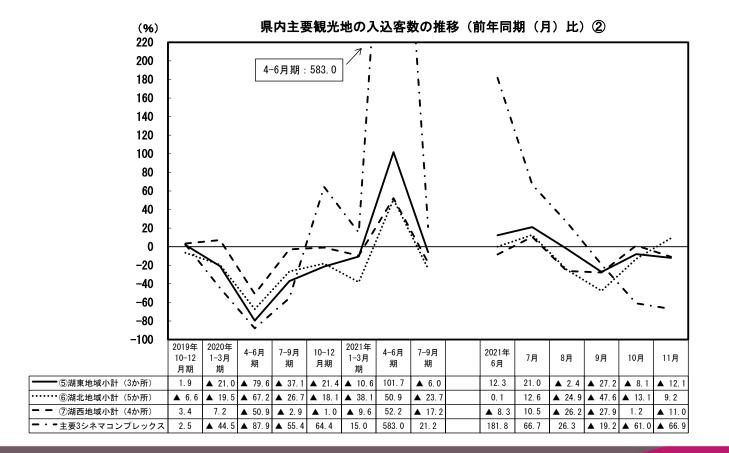
昨年8月下旬に全国各地に出されていた「緊急事態宣言」などが9月末に全面解除されたため、 観光地の入込客数は徐々に回復してきたが、「大津地域」「南部地域」は依然、マイナスが続いている。





現状分析②:「シネコン」も大幅減少となり伸び悩み

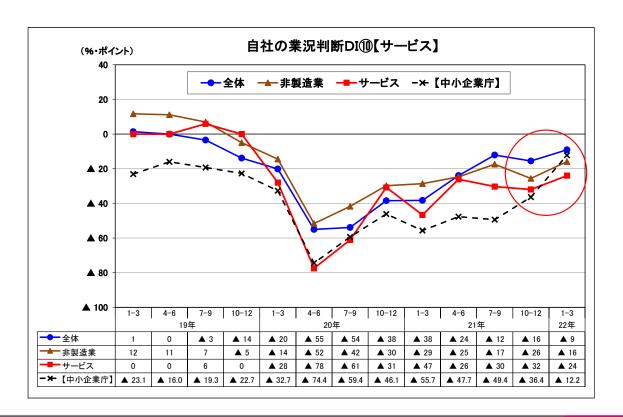
- 「湖北地域」「湖西地域」ではプラスもみられるが、「湖東地域」ではマイナスが続き、全体に依然、厳しい状況が続いているとみられる。
- 「主要3シネコン」も9月以降、大幅の減少となり伸び悩んでいる。





アンケート調査分析①: 自社の業況判断DI

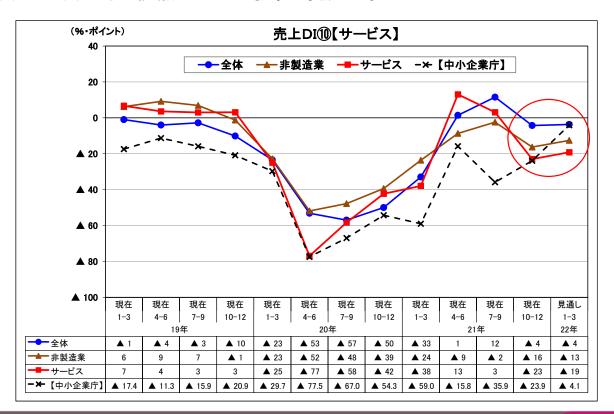
- ・今期(21年10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「サービス」(n=25)は▲32となり、前期(7-9月期、▲30)に比べやや低下し、依然低水準が続いている。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「サービス」(n=5,881)は▲36.4となり、前期(▲49.4)に比べ上昇しているが、依然低水準。なお、水準はともにマイナスだか、県内企業のほうがやや高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業、中小企業景況調査ともに上昇するも、県内企業の上昇幅のほうが小さい(順に▲24、▲12.2)。





アンケート調査分析②:売上DI

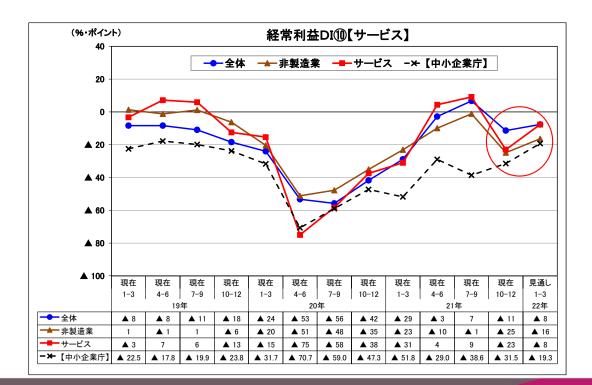
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲23となり、前期(7-9月期、3)から 大幅に低下し、一転、マイナスとなった。
- ・中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲23.9となり、前期(▲35.9)に比べ上昇したものの、引き続きマイナス水準。なお、水準はともにマイナスでほぼ同じ。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、<mark>県内企業はやや上昇(▲19)、</mark>中小企業景況調査では大幅 に上昇するも(▲4.1)、ともに依然マイナス水準の見込み。





アンケート調査分析③:経常利益DI

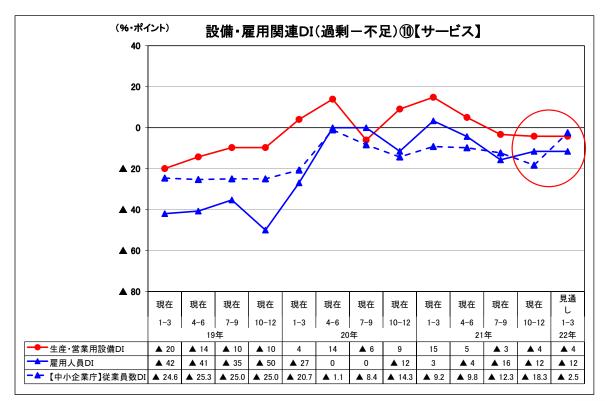
- ・今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲23となり、前期(7-9月期、9)に比べ大幅に低下し、一転、マイナス水準となった。
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲31.5となり、前期(7-9月期、▲38.6)に比べやや上昇したものの、引き続きマイナス水準。なお、水準はともにマイナスだが、県内企業のほうがやや高い。
- ・来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業は大幅に上昇し(▲8)、中小企業景況調査でも上昇するも(▲19.3)、ともに依然マイナス水準の見込み。





アンケート調査分析④:設備・雇用関連DI

- 「生産・営業用設備DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲4となり、 前期(7-9月期、▲3)に続き、不足感となっている。来期 (22年1-3月期)の見通しをみると、県 内企業では不足感は横ばい(▲4)。
- 「雇用人員DI」の今期(10-12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲12なり、不足感は やや弱まった。中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲18.3となり、不足感がさらに強まっている。 来期(22年1-3月期)の見通しをみると、県内企業では不足感は横ばい(▲12)、中小企業景況調 査では不足感が弱まる見込み(▲2.5)。





①業況判断DI(良い一悪い)

①業況判断DI(良い一悪い)

·I 年		19	午			20:	午			21	午		22年	回答数(n)	
 期	1-3	4-6	+- 7-9	10-12	1-3	4-6	'+ 7-9	10-12	1-3	4-6	 7-9	10-12	1-3	凹合致(n) 10-12月期	業種
77 1	現在	現在	<i>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </i>	現在	現在	現在		現在	現在	 現在	現在	現在	<u> </u>	10一12月朔	木性
:体	1	<u> </u>	<u>∌ti⊥</u>	<u>⊅61</u> 14	<u>⊅ti⊥</u>	<u>≯, i⊥</u>	<u>⊅61⊥</u>	<u>≯</u> 38	<u>≯, 1</u>	<u>⊅ti⊥</u>	<u>⊅61⊥</u>	<u>∌ii⊥</u> ▲ 16	<u> </u>	298	全体
造業	▲ 11	▲ 13	<u> </u>	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 51	▲ 23	<u>6</u>	<u></u> , ₃	<u> </u>	134	製造業
製造業	12	11	7	▲ 5	<u>■ 14</u>	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 29	<u>▲</u> 25	▲ 17	▲ 26	▲ 16		非製造業
·体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 38	<u> </u>	▲ 12	▲ 16	▲ 9		全体
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 51	▲ 23	▲ 6	▲ 3	▲ 1	134	製造業
繊維	▲ 46	▲ 37	▲ 31	▲ 57	▲ 27	▲ 90	▲ 76	▲ 81	▲ 85	▲ 62	▲ 54	▲ 35	▲ 35	17	繊維
木材·木製品	▲ 63	▲ 25	▲ 33	▲ 13	▲ 14	▲ 100	▲ 57	▲ 100	▲ 43	▲ 33	▲ 14	67	17	6	木材·木製
紙・パルプ	▲ 33	50	4 0	50	100	0	0	0	0	0	0	33	0		紙・パルプ
化学	▲ 17	25	▲ 36	▲ 25	14	4 0	▲ 83	▲ 50	▲ 78	▲ 14	▲ 10	18	9	11	化学
石油·石炭	0	0	0	0	▲ 100	0	▲ 75	0	0	0	0	0	0	0	石油·石炭
窯業·土石	0	▲ 25	20	▲ 25	▲ 17	▲ 71	▲ 71	▲ 50	▲ 60	A 40	17	0	▲ 20	5	窯業·土石
鉄鋼	50	25	▲ 33	0	100	0	0	0	▲ 50	▲ 33	0	33	0	3	鉄鋼
非鉄金属	100	0	50	▲ 33	1 00	0	▲ 43	0	33	100	67	100	100	1	非鉄金属
食料品	▲ 29	▲ 23	▲ 11	▲ 33	▲ 55	▲ 69	▲ 92	▲ 56	▲ 67	▲ 85	▲ 60	▲ 33	▲ 11	9	食料品
金属製品	▲ 5	0	▲ 11	▲ 18	▲ 38	▲ 82	▲ 92	▲ 19	▲ 55	▲ 20	5	▲ 5	0	21	金属製品
一般機械	50	0	33	8	38	▲ 47	▲ 15	▲ 40	▲ 33	▲ 18	15	33	▲ 11	9	一般機械
電気機械	▲ 18	▲ 9	▲ 31	▲ 25	▲ 50	▲ 36	▲ 50	▲ 45	▲ 55	0	27	▲ 11	▲ 11	9	電気機械
輸送用機械	75	▲ 67	▲ 33	▲ 20	▲ 25	▲ 100	▲ 60	▲ 25	▲ 20	0	33	0	100	4	輸送用機構
精密機械	▲ 25	▲ 60	▲ 43	▲ 50	▲ 100	▲ 33	▲ 100	▲ 100	▲ 67	0	0	0	0	5	精密機械
その他の製造	▲ 4	▲ 12	▲ 12	▲ 32	▲ 52	▲ 47	▲ 71	▲ 52	▲ 38	0	▲ 8	▲ 16	6	31	その他の製
非製造業	12	11	7	▲ 5	▲ 14	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 29	▲ 25	▲ 17	▲ 26	▲ 16	164	非製造業
建設	30	25	29	15	19	▲ 33	▲ 26	▲ 13	▲ 15	▲ 6	▲ 14	▲ 15	▲ 23	52	建設業
不動産	▲ 8	27	▲ 20	27	22	▲ 38	▲ 6	▲ 7	▲ 7	23	36	23	15	13	不動産
卸売	17	7	9	▲ 7	▲ 26	▲ 54	▲ 41	▲ 55	▲ 43	▲ 44	▲ 40	▲ 46	▲ 18		卸売
小売	0	▲ 5	▲ 26	▲ 50	▲ 47	▲ 65	▲ 50	▲ 48	▲ 47	▲ 57	▲ 25	▲ 64	▲ 16		小売
運輸・通信	8	0	9	▲ 20	▲ 27	▲ 44	▲ 67	▲ 33	▲ 38	▲ 50	8	10	20	10	運輸·通信
電気・ガス	0	0	0	▲ 50	▲ 20	▲ 50	▲ 75	▲ 40	20	0	▲ 20	▲ 40	▲ 40	5	電気・ガス
サービス	0	0	6	0	▲ 28	▲ 78	▲ 61	▲ 31	▲ 47	▲ 26	▲ 30	▲ 32	▲ 24	25	サービス
リース	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	▲ 100	▲ 100	1	リース
その他非製造	▲ 25	0	0	▲ 36	▲ 45	▲ 36	4 0	▲ 27	▲ 14	▲ 25	0	▲ 9	▲ 9	11	その他非製



業況判断DI(「良い」のフリーアンサー)

【製造業】

「良い」(かなり良い+やや良い)

業種	事象
紙・パルプ	関連会社よりの受注が好調。
	海外のロックダウンで客先の注文が増加。
化学	半導体部品が好調。自動車の見通しは依然不透明。
104	期首計画より受注増加が毎月続いている。
	原油価格の高騰が再生燃料油の販売価格を押し上げている。
食料品	新型コロナの終息方向。
金属製品	メイン受注先からの受注好調。
電気機械	センサーの需要が高まっているため、売上10%アップ。
精密機械	製薬メーカー向けの機械部品受注の増加、また梱包メーカー用部品の受注増で業況は良い。 半導体不足の影響により、自動車向け製品の生産は減少したが、産業機械向け製品が好調。
その他の製造業	前期の公共工事受注で売上が増加。 材料不足懸念の拡大により受注先での在庫積増要因もあり、この先6か月は受注堅調の見通し。 半導体需要が好調で、その関連事業の売上が10%程度増加する見込み。 大手OEMの増産。



業況判断DI(「良い」のフリーアンサー)

【非製造業】

「良い」(かなり良い+やや良い)

業種	事象
建設	工事の規模は大きくないが、受注件数が多い。
建议	前年度の完成工事高と比較するとやや良い。
小売	売上向上に注力。
海岭、海岸	売上の対前年比が増加。
運輸・通信	売上が若干増加。
その他の非製造業	冷凍品の売上が微増するため、10-12月期は好調。1-3月期は、例年の売り先が新型コロナによるダ メージを受けている関係で売上減少の見込み。
	2021年第3四半期(7月-9月)本業の売上高(医業収入)は13.2%増加した。



業況判断DI(「悪い」のフリーアンサー)

【製造業】

「悪い」(かなり悪い+やや悪い)

72.1	い思いてやで思いり
業種	事象
繊維	新型コロナの影響により、売上が減少した。また、原材料価格が高止まりしている。
10540145	新型コロナの影響で売上が3年前と比べて15%ほど減少した。
紙・パルプ	原燃料の高騰。
化学	コロナ禍で特需製品が増え売上が伸びたが、労務費が比例して増加している。
鉄鋼	鋼材の値上がりと供給が思うようにならない。
食料品	新型コロナの影響で9月、10月の売上が30%減少した。
	新型コロナ、半導体供給等の影響。
金属製品	県内製造業の操業状況の影響か、売上の伸びが芳しくない。
並凋殺叩	自動車関連の生産停止により、特に10月度の売上が前年比15%減少した。
	売上が前年同期25%減。石油減産による価格高騰の影響。
電気機械	先行が不透明のため、設備投資を控えている。
电火机吸机	半導体不足および材料価格高騰などにより。
輸送用機械	客先の部品供給不足の為、売上が10%減少した。
	円安ならびに穀物相場の高騰が大きい。
	半導体等の部品調達難により、海外の子会社向けの原材料輸出が減少している。
この44の側24光	半導体不足の影響で自動車関連部品の受注が30%減少しているが、回復の兆しが少しずつ見られる。
その他の製造業	新型コロナの影響で卸先の売上が30%減少した。
	家電、建機、自動車関連の包装資材を扱っており、半導体不足による、生産減速の影響が出ている。
	主力商品の販売が30%減少。



業況判断DI(「悪い」のフリーアンサー)

【非製造業】①

「悪い」(かなり悪い+やや悪い)

業種	事象
	現在は前期より繰越工事が少なかったため、売上予想額が減少した。また、利益率が低い工事が多く、 近年では最も悪い収益状況となっている。
	民間受注の低迷で、新築・リフォームの売上が30%以上減少している。
	新型コロナの影響で企業の設備投資が止まり、売上が50%減少。
	公共工事の受注減。
建設	土木部門の官工事については、国・県の予算がついており堅調に推移するも、建築部門の民間工事が 新型コロナの影響があり苦戦している。
	鋼材が品薄で手に入りづらく、受注もしにくい。受注物件の減少が続いている。
	新型コロナの影響で9、10月の売上が約30%減少。
	客先の設備投資が低迷しており、売上が減少。また、受注しても受注金額が低く、利益が減少。
	手持工事の受注状況や利益状況が悪化。主要材料の仕入価格が上昇している。
	新型コロナの影響か、客の思いと金額の折り合いがつきにくく、契約にいたらなかったり、長引いたりしている。
	「ウッドショック」の影響で、仕入価格が約25~30%上昇した。
	一定の出荷予定はあるものの出荷量はコロナ前より減少し、すべてのプロセスが回復するには今しばら く時間を要す。
卸売	半導体不足の影響で商品入荷が大幅に遅れている。
	コロナ禍で、ホテルや飲食店などの業務店向けの飲食(特に酒類)の販売が減少。
	新型コロナの影響から物流が回復しきらないと考えている。雪もあまり積もらないと予想している。
	新型コロナ、半導体不足、売上5%減。



業況判断DI(「悪い」のフリーアンサー)

【非製造業】②

「悪い」(かなり悪い+やや悪い)

「悪い」(かな	とり悪い+やや悪い)
業種	事象
	例年に比べ新型iPhoneの販売台数が少なく、その影響が売上に大きく出ている。
	新型コロナの影響の大きさは大変であると感じており、さらに利益率の低下が重なっている。
	中国の電力不足の影響で生産スケジュールが遅れ、販売機会のロスが発生し、売上に影響している。
	原油高。
	新型コロナの影響で生花の売上が10%減少した。
小売	原油、ガスの仕入価格高騰により粗利が低下。
	新型コロナの影響で観光地の売上が30%程減少していたが、少しずつ回復の兆しが見える。
	新型コロナの影響で商品が入荷しないため、売上が40%減少した。
	緊急事態宣言による休業は解除されたが、インバウンド売上は現在も見込めず、国内消費も買い控えが 続いているため、コロナ前には戻っていない。
	主力のパイプハウスの受注が少ない。
	新型コロナの影響で、予約数が30%程減少。
	新型コロナ「第5波」の終息の影響で、個人客の動きは戻りつつあるが、団体での動きは半分以下になっており、大変化の時代。
	新型コロナの感染拡大防止に伴う規制は解除されているが、人の動きはまだまだ不十分で、売上はGo Toがあった昨年を10%下回っている。
サービス	主事業が大手企業内社員食堂での食事提供業務であり、食堂利用者数の増減が業況を左右。テレ ワーク推進等、社会環境の変化が業況悪化の要因。
	原油価格上昇により。
	昨年はGoToトラベルが実施され、かなりの売上が見込めたが、今年度はGoToトラベル未実施のため、売上が15%~20%減少している。
	少子化の影響で、写真販売の売上が20%減少した。
	新型コロナの影響と冬期における人の流れが止まる閑散期で、20%は売上が減少すると予想する。
リース	大手レンタル企業の攻勢により、レンタル機稼働率が減少。
その他の非製造業	自動車メーカーからの受注減(半導体物流の影響)。



②売上高DI(増加-減少)

②売上高DI(増加-減少)

<u>DI</u>	年		19	年			20:	年			21	年		22年	回答数(n)	
	 期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	10-12月期	業種
		現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し		,_
全体		▲ 1	4	A 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 33	1	12	4	4		全体
	生業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46	15	28	11	7		製造業
	製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 24	▲ 9	▲ 2	▲ 16	▲ 13	166	非製造業
<u> </u>	<u> </u>	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 33	1	12	▲ 4	▲ 4	299	
	製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46	15	28	11	7	133	製造業
	繊維	▲ 32	▲ 21	▲ 25	▲ 22	▲ 20	▲ 73	▲ 82	▲ 75	▲ 65	8	23	▲ 24	12	17	繊維
	木材・木製品	0	▲ 38	▲ 83	▲ 38	▲ 14	▲ 86	▲ 57	▲ 100	▲ 71	▲ 33	29	100	▲ 17		木材・木製品
	紙・パルプ	▲ 33	50	40	25	67	67	0	33	0	0	50	67	33		紙・パルプ
	化学	14	33	▲ 27	25	0	▲ 30	▲ 83	▲ 75	▲ 44	43	60	45	45	11	化学
	石油·石炭	0	0	0	0	▲ 100	0	▲ 100	0	0	0	0	0	0	0	石油·石炭
	窯業·土石	0	▲ 25	0	0	▲ 33	▲ 57	▲ 86	▲ 38	▲ 40	▲ 20	50	0	▲ 40	5	
	鉄鋼	100	25	▲ 33	▲ 100	100	0	▲ 100	0	▲ 50	67	0	33	33	3	777
	非鉄金属	100	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 25	▲ 57	▲ 100	0	100	100	0	0	1	非鉄金属
	食料品	▲ 50	▲ 50	▲ 6	▲ 45	▲ 64	▲ 69	▲ 85	▲ 75	▲ 58	23	20	▲ 45	22	9	食料品
	<mark>金属製品</mark>	16	▲ 16	▲ 11	▲ 35	▲ 38	▲ 77	▲ 71	▲ 71	▲ 65	27	40	29	10	21	金属製品
	<mark>一般機械</mark>	0	0	25	8	13	▲ 33	▲ 46	▲ 70	▲ 47	▲ 18	15	22	▲ 22	9	一般機械
	電気機械	▲ 45	▲ 27	▲ 15	▲ 36	▲ 50	▲ 36	▲ 70	▲ 55	▲ 8	▲ 10	18	11	▲ 22	9	電気機械
	輸送用機械	50	▲ 67	▲ 33	▲ 20	0	▲ 100	▲ 20	▲ 100	▲ 80	100	25	50	75		TID ~ 713 1/2 1/7
	精密機械	▲ 25	▲ 60	▲ 57	▲ 50	▲ 100	▲ 83	▲ 100	▲ 100	▲ 67	33	67	0	0		精密機械
	その他の製造	▲ 8	▲ 20	▲ 4	▲ 14	▲ 16	▲ 47	▲ 61	▲ 45	▲ 25	16	13	▲ 10	3	30	
1	非製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 24	▲ 9	▲ 2	▲ 16	▲ 13		非製造業
	建設	9	8	9	▲ 6	▲ 14	▲ 44	▲ 50	▲ 32	▲ 14	▲ 22	▲ 35	▲ 23	▲ 38	53	建設業
	不動産	8	▲ 13	▲ 10	27	0	▲ 23	▲ 18	▲ 27	▲ 7	31	18	15	0		不動産
	卸売	4	27	26	24	▲ 12	▲ 61	▲ 31	▲ 59	▲ 32	▲ 24	▲ 4	▲ 5	9		卸売
	小売	▲ 6	14	▲ 18	▲ 25	▲ 53	▲ 51	▲ 58	▲ 48	▲ 44	▲ 7	14	▲ 32	▲ 4		小売
	運輸・通信	31	▲ 13	36	▲ 20	▲ 20	▲ 13	▲ 54	▲ 22	▲ 31	▲ 13	0	▲ 10	40	10	
	電気・ガス	▲ 100	0	0	▲ 50	▲ 40	▲ 75	▲ 75	▲ 50	0	0	▲ 20	0	20	5	
	サービス	7	4	3	3	▲ 25	▲ 77	▲ 58	▲ 42	▲ 38	13	3	▲ 23	▲ 19	26	サービス
	リース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 100	▲ 100	1	リース
	その他非製造	0	33	20	▲ 21	▲ 27	▲ 57	▲ 40	▲ 27	8	▲ 8	54	0	▲ 9	11	その他非製法



③経常利益DI(増加一減少)

③経常利益DI(増加-減少)

年		19	年			20:	年			21	年		22年	回答数(n)	
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	10-12月期	業種
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し		
Z	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 29	▲ 3	7	▲ 11	▲ 8	298	全体
業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 37	7	16	5	3	133	製造業
造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 23	1 0	▲ 1	▲ 25	▲ 16	165	非製造業
Z	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 29	A 3	7	▲ 11	▲ 8	298	全体
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 37	7	16	5	3	133	製造業
繊維	▲ 32	▲ 32	▲ 38	▲ 43	▲ 27	▲ 82	▲ 81	▲ 88	▲ 75	▲ 8	8	▲ 19	0	16	繊維
木材·木製品	▲ 50	▲ 50	▲ 83	▲ 50	▲ 29	▲ 86	▲ 57	▲ 100	▲ 71	▲ 17	0	83	▲ 17		木材·木
紙・パルプ	▲ 67	50	▲ 20	0	67	67	50	▲ 33	50	0	0	33	0	3	紙・パル
<mark>化学</mark>	▲ 14	44	▲ 55	▲ 50	29	▲ 10	▲ 75	0	22	43	70	27	9	11	化学
石油·石炭	0	0	0	0	▲ 100	0	▲ 100	0	0	0	0	0	0		石油·石
窯業・土石	▲ 50	▲ 50	0	13	▲ 17	▲ 43	▲ 71	▲ 63	▲ 40	▲ 20	0	0	▲ 40		窯業·土
鉄鋼	50	0	▲ 100	▲ 100	100	0	0	0	▲ 50	33	25	0	▲ 33		鉄鋼
非鉄金属	50	0	▲ 100	▲ 100	▲ 100	0	▲ 57	▲ 100	67	50	33	0	0		非鉄金属
食料品	▲ 36	▲ 15	▲ 6	▲ 33	▲ 55	▲ 69	▲ 92	▲ 44	▲ 58	▲ 8	▲ 10	▲ 22	▲ 11	9	食料品
金属製品	0	▲ 16	▲ 11	▲ 24	▲ 43	▲ 73	▲ 71	▲ 57	▲ 70	27	50	33	10	21	金属製品
<mark>一般機械</mark>	0	8	0	▲ 8	13	▲ 33	▲ 38	▲ 40	▲ 27	▲ 18	▲ 15	11	22	9	一般機械
電気機械	▲ 46	▲ 9	▲ 15	▲ 27	▲ 42	▲ 43	▲ 60	▲ 45	▲ 8	0	27	0	▲ 11	9	電気機械
輸送用機械	50	▲ 67	▲ 67	▲ 80	▲ 75	▲ 100	▲ 40	0	0	100	33	50	100		輸送用機
精密機械	▲ 25	▲ 60	▲ 71	▲ 50	▲ 100	▲ 83	▲ 100	▲ 100	▲ 67	0	33	▲ 40	▲ 20	5	精密機械
その他の製造	▲ 13	▲ 24	▲ 8	▲ 32	▲ 36	▲ 58	▲ 61	▲ 39	▲ 25	6	3	▲ 16	7		その他の
非製造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 23	▲ 10		▲ 25	▲ 16		非製造業
建設	7	0	▲ 2	▲ 13	▲ 4	▲ 47	▲ 52	▲ 42	▲ 28	▲ 22	▲ 26	▲ 27	▲ 31	52	建設業
不動産	8	▲ 20	▲ 10	20	0	▲ 31	▲ 24	▲ 20	▲ 20	23	45	8	15		不動産
卸売	4	0	22	21	▲ 26	▲ 58	▲ 34	▲ 48	▲ 26	▲ 8	▲ 20	▲ 5	▲ 5		卸売
<mark>小売</mark>	▲ 12	0	▲ 11	▲ 13	▲ 47	▲ 37	▲ 50	▲ 43	▲ 9	▲ 7	14	▲ 60	▲ 2 8		小売
運輸・通信	8	▲ 13	▲ 18	▲ 30	▲ 50	▲ 44	▲ 62	0	▲ 23	0	0	▲ 20	20		運輸·通
電気・ガス	0	0	0	0	▲ 20	▲ 75	▲ 50	▲ 40	▲ 40	▲ 50	▲ 40	▲ 60	▲ 40		電気・ガス
サービス	▲ 3	7	6	▲ 13	▲ 15	▲ 75	▲ 58	▲ 38	▲ 31	4	9	▲ 23	▲ 8	26	サービス
リース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 100	▲ 100	1	リース
その他非製造	▲ 25	0	22	▲ 23	▲ 18	▲ 36	4 0	9	A 7	▲ 33	46	0	▲ 18	11	その他非



④生産·営業用設備DI(過剰一不足)

④生産·営業用設備DI(過剰-不足)

生産·営業用設備DI

年	Ξ [19)年			20	年			21	年		22年	回答数(n)	
期	A .	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	10-12月期	業種
		現在	見通し													
全体		A 7	▲ 6	▲ 9	▲ 6	2	5	5	5	2	2	0	▲ 0	▲ 1	294	全体
製造業		▲ 7	▲ 1	▲ 8	4	5	12	13	12	5	4	0	4	2	134	製造業
非製造業		▲ 7	▲ 11	▲ 9	▲ 7	▲ 1	0	▲ 2	▲ 1	1	1	1	▲ 4	▲ 4		非製造業
全 <u>体</u>		▲ 7	▲ 6	▲ 9	▲ 6	2	5	5	5	2	2	0	▲ 0	▲ 1		全体
製造業		▲ 7	▲ 1	▲ 8	▲ 4	5	12	13	12	5	4	0	4	2	134	製造業
繊維		9	16	13	14	13	23	18	13	20	15	15		24	17	繊維
	•木製品	0	▲ 13	▲ 17	▲ 38	0	▲ 14	▲ 14	0	▲ 14	0	0	▲ 17	▲ 33		木材·木製品
	パルプ	33	0	·	▲ 25	▲ 33	0	0	▲ 33	0	0	0	·	ŭ		紙・パルプ
化学		▲ 14	▲ 11	▲ 18	▲ 11	0	10	42	38	11	▲ 29	▲ 10	▲ 9	▲ 9		化学
	•石炭	0	0	·	0	100	0	25	0	0	0	0				石油·石炭
	·土石	17	25	0	▲ 13	0	14	14	13	0	0	0	•	·		窯業·土石
鉄鋼		▲ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3	鉄鋼
非鉄:		▲ 50	0		0	0	▲ 25	0	0	0	▲ 50	▲ 33	0		1	非鉄金属
<mark>食料</mark>		▲ 22	▲ 8		22	0	25	25	7	25	15	10	0		9	食料品
金属 ²		▲ 11	0	▲ 11	12	10	18	21	19	5	13	0	10	10	21	金属製品
	機械	0	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 13	0	0	10	▲ 7	9	0	0	11	9	一般機械
電気		▲ 18	▲ 9	0	0	8	7	0	18	8	10	18	11	0	9	電気機械
	用機械	▲ 25	0		▲ 40	0	50	0	0	20	0	0	•			輸送用機械
精密		25	20		0	0	0	33	0	▲ 33	0	0				精密機械
	他の製造	▲ 16	<u>▲ 4</u>	▲ 12	▲ 11	8	14	7	10	▲ 3	0	▲ 8	0			その他の製造
非製造業	莱	▲ 7	▲ 11	▲ 9	▲ 7	▲ 1	▲ 0	▲ 2	▲ 1	1	1	1	▲ 4	▲ 4	160	非製造業
建設		0	▲ 12	▲ 12	▲ 4	▲ 4	▲ 7	▲ 4	▲ 2	▲ 2	0	2	▲ 4	▲ 4		建設業
不動		▲ 9	▲ 15	▲ 13	0	0	▲ 8	0	▲ 14	▲ 14	0	0		8	13	不動産
卸売		▲ 13	▲ 7	0	▲ 10		6	4	3	0	4	7	0			卸売
<mark>小売</mark>		▲ 6	<u>▲ 9</u>	▲ 18	▲ 14	3	▲ 12	3	▲ 4	▲ 3	<u>▲</u> 11	<u>▲</u> 5	▲ 20	▲ 16		小売
	•通信	▲ 8	▲ 13	0	0	▲ 9	7	0	0	7	13	0	0		10	~ 10 ~ 11
	・ガス	0	0	, ,	0	0	0	0	0	0	0	0	·	, i		電気・ガス
<mark>サー</mark> t		▲ 20	▲ 14	▲ 10	▲ 10	4	14	▲ 6	9	15	5	▲ 3	▲ 4	▲ 4		サービス
<u> </u>		0	0	_	0	0	0	0	0	0	0	0				リース
その	他非製造	13	▲ 17	0	0	▲ 11	0	▲ 13	0	0	10	0	0	0	10	その他非製造



⑤雇用人員DI(過剰一不足)

⑤雇用人員DI(過剰-不足) 雇用人員DI

年 19年							_				_				
年						20				21			22年	回答数(n)	علاد ت
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	10-12月期	業種
	現在	見通し													
:体	▲ 37	▲ 32	▲ 37	▲ 33	▲ 25	▲ 1	1	▲ 8	▲ 15	▲ 14	▲ 18	▲ 25	▲ 24		全体
造業	▲ 27	▲ 21	▲ 26	▲ 17	▲ 11	13	15	-	0	▲ 3	▲ 17	▲ 19	▲ 19		製造業
製造業	▲ 45	▲ 42	▲ 46	▲ 47	▲ 35	▲ 11	▲ 12	▲ 20	▲ 26	▲ 23	▲ 18	▲ 29	▲ 28	166	非製造業
:体	▲ 37	▲ 32	▲ 37	▲ 33	▲ 25	▲ 1	1	▲ 8	▲ 15	▲ 14	▲ 18	▲ 25	▲ 24	300	全体
製造業	▲ 27	▲ 21	▲ 26	▲ 17	▲ 11	13	15	7	0	▲ 3	▲ 17	▲ 19	▲ 19	134	製造業
繊維	▲ 5	▲ 11	▲ 6	▲ 14	0	18	6	19	15	15	0	▲ 6	▲ 12	17	繊維
木材·木製品	▲ 38	▲ 38	▲ 17	▲ 13	▲ 29	0	14	0	0	▲ 17	0	▲ 33	▲ 50	6	木材•木製品
紙・パルプ	0	50	20	▲ 25	▲ 33	▲ 33	50	0	0	0	0	▲ 33	▲ 33	3	紙・パルプ
化学	0	▲ 33	▲ 46	▲ 33	▲ 14	0	42	25	0	▲ 14	▲ 20	▲ 27	▲ 18	11	化学
石油·石炭	0	0	0	0	0	0	▲ 50	0	0	0	0	0	0	0	石油·石炭
窯業·土石	▲ 33	0	0	0	0	▲ 14	0	25	0	0	0	0	0	5	窯業·土石
鉄鋼	▲ 100	▲ 75	▲ 67	0	0	▲ 100	0	0	50	▲ 67	▲ 75	▲ 67	▲ 67	3	鉄鋼
非鉄金属	▲ 50	0	▲ 50	▲ 33	▲ 100	▲ 50	14	0	▲ 67	▲ 50	▲ 33	1 00	▲ 100	1	非鉄金属
食料品	▲ 29	▲ 31	▲ 39	▲ 11	0	31	33	0	25	38	10	0	0	9	食料品
金属製品	▲ 42	0	▲ 17	▲ 12	▲ 5	32	38	▲ 10	5	▲ 7	▲ 15	▲ 24	▲ 19	21	金属製品
一般機械	▲ 20	▲ 25	▲ 17	0	▲ 13	11	▲ 8	0	▲ 20	▲ 9	▲ 8	▲ 22	▲ 22	9	一般機械
電気機械	▲ 36	▲ 18	▲ 46	▲ 18	▲ 17	0	0	18	0	▲ 20	▲ 46	▲ 44	▲ 33	9	電気機械
輸送用機械	▲ 50	▲ 67	▲ 33	▲ 80	▲ 25	75	▲ 20	0	0	0	▲ 25	▲ 50	▲ 25	4	輸送用機械
精密機械	▲ 25	▲ 20	▲ 29	17	0	0	33	50	▲ 33	▲ 33	▲ 33	20	0		精密機械
その他の製造	▲ 28	▲ 24	▲ 31	▲ 25	▲ 16	17	15	3	▲ 6	▲ 3	▲ 24	▲ 13	▲ 13		その他の製
非製造業	▲ 45	▲ 42	▲ 46	▲ 47	▲ 35	▲ 11	▲ 12	▲ 20	▲ 26	▲ 23	▲ 18	▲ 29	▲ 28		非製造業
建設	▲ 50	▲ 65	▲ 70	▲ 68	▲ 71	▲ 38	4 0	▲ 45	▲ 50	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 59	53	建設業
不動産	▲ 18	▲ 20	1 0	▲ 9	22	8	▲ 6	▲ 13	▲ 20	▲ 8	0	▲ 8	▲ 15	13	不動産
卸売	▲ 50	▲ 17	▲ 35	▲ 28	▲ 18	3	0	A 3	▲ 14	▲ 12	7	▲ 18	▲ 14	22	卸売
小売	▲ 53	▲ 50	▲ 43	▲ 63	▲ 33	0	0	4	▲ 28	▲ 15	▲ 5	▲ 16	▲ 20		小売
運輸・通信	▲ 54	▲ 50	▲ 55	▲ 50	▲ 9	▲ 25	▲ 25	▲ 33	▲ 14	0	0	10	10	10	運輸·通信
電気・ガス	▲ 50	▲ 33	▲ 33	0	▲ 20	▲ 25	▲ 25	▲ 20	▲ 20	▲ 100	▲ 20	4 0	4 0	5	電気・ガス
サービス	▲ 42	▲ 41	▲ 35	▲ 50	▲ 27	0	0	▲ 12	3	▲ 4	▲ 16	▲ 12	▲ 12		サービス
リース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	リース
その他非製造	▲ 13	0		▲ 22	▲ 9	0	30	0	▲ 23	▲ 33	▲ 25	▲ 36	▲ 18	11	



⑥[中小企業]業況判断DI(良い一悪い)

⑥業況判断DI(良い一悪い)

【中小企業庁】

	年			19	年			20	年			21	年		22年
	期	直近の回 答企業数	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
			現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し
全体	Z	18,238	▲ 25.0	▲ 20.2	▲ 23.5	▲ 26.9	▲ 36.3	▲ 68.1	▲ 57.2	▲ 45.4	▲ 49.1	▲ 42.3	▲ 44.0	▲ 34.1	▲ 14.8
製造	業	4,455	▲ 22.0	▲ 19.8	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 41.0	▲ 71.2	▲ 66.3	▲ 53.5	▲ 49.4	▲ 37.9	▲ 37.2	▲ 28.2	▲ 9.2
非數	造業	13,783	▲ 26.0	▲ 20.3	▲ 22.6	▲ 26.4	▲ 34.7	▲ 67.1	▲ 54.3	▲ 43.0	▲ 48.9	▲ 43.8	▲ 46.2	▲ 35.9	▲ 16.6
全体	Z	18,238	▲ 25.0	▲ 20.2	▲ 23.5	▲ 26.9	▲ 36.3	▲ 68.1	▲ 57.2	▲ 45.4	▲ 49.1	▲ 42.3	▲ 44.0	▲ 34.1	▲ 14.8
1	製造業	4,455	▲ 22.0	▲ 19.8	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 41.0	▲ 71.2	▲ 66.3	▲ 53.5	▲ 49.4	▲ 37.9	▲ 37.2	▲ 28.2	▲ 9.2
	繊維工業	407	▲ 28.4	▲ 21.8	▲ 31.3	▲ 39.4	▲ 46.7	▲ 78.7	▲ 69.9	▲ 65.3	▲ 65.0	▲ 59.1	▲ 52.8	▲ 44.5	▲ 14.8
	化学	70	▲ 6.7	2.8	▲ 5.6	▲ 16.6	▲ 26.8	▲ 49.9	▲ 46.4	▲ 45.6	▲ 38.0	▲ 23.3	▲ 17.8	▲ 10.0	7.5
	食料品	943	▲ 29.5	▲ 16.6	▲ 28.6	▲ 26.2	▲ 40.8	▲ 75.9	▲ 60.3	▲ 41.3	▲ 57.6	▲ 45.8	▲ 53.7	▲ 34.5	▲ 6.6
	金属製品	481	▲ 9.5	▲ 20.3	▲ 21.5	▲ 25.3	▲ 38.1	▲ 62.2	▲ 66.7	▲ 57.7	▲ 39.3	▲ 23.4	▲ 18.7	▲ 13.0	▲ 2.2
	機械器具	559	▲ 6.5	▲ 17.7	▲ 21.2	▲ 30.2	▲ 42.8	▲ 69.6	▲ 70.5	▲ 62.0	▲ 46.8	▲ 34.7	▲ 24.0	▲ 15.8	▲ 2.4
	電気·情報通信機 械器具·電子部品	184	▲ 22.9	▲ 31.9	▲ 27.1	▲ 26.1	▲ 41.5	▲ 64.5	▲ 68.6	▲ 48.8	▲ 35.8	▲ 31.5	▲ 23.1	▲ 20.3	▲ 5.2
ā	非製造業	13,783	▲ 26.0	▲ 20.3	▲ 22.6	▲ 26.4	▲ 34.7	▲ 67.1	▲ 54.3	▲ 43.0	▲ 48.9	▲ 43.8	▲ 46.2	▲ 35.9	▲ 16.6
	建設業	2,354	▲ 3.8	▲ 0.8	0.1	▲ 1.9	▲ 9.2	▲ 35.8	▲ 28.5	▲ 20.1	▲ 20.8	▲ 19.3	▲ 19.8	▲ 13.7	▲ 19.1
	小売業	4,431	▲ 40.7	▲ 34.8	▲ 37.2	▲ 42.0	▲ 48.3	▲ 72.1	▲ 58.3	▲ 48.3	▲ 53.7	▲ 51.0	▲ 55.5	▲ 46.4	▲ 23.8
	サービス	5,881	▲ 23.1	▲ 16.0	▲ 19.3	▲ 22.7	▲ 32.7	▲ 74.4	▲ 59.4	▲ 46.1	▲ 55.7	▲ 47.7	▲ 49.4	▲ 36.4	▲ 12.2



⑦[中小企業]売上高DI(増加一減少)

⑦売上高DI(増加一減少)

【中小企業庁】

	年	年 19年					20	年			22年			
	期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
		現在	見通し											
全体		▲ 19.7	▲ 15.8	▲ 19.9	▲ 26.1	▲ 34.0	▲ 70.5	▲ 62.8	▲ 51.6	▲ 50.0	▲ 17.2	▲ 28.9	▲ 21.2	▲ 8.9
製造	業	▲ 16.9	▲ 14.3	▲ 20.2	▲ 26.9	▲ 39.5	▲ 72.7	▲ 68.7	▲ 59.9	▲ 48.9	▲ 10.7	▲ 10.4	▲ 8.9	▲ 2.5
非製	造業	▲ 20.6	▲ 16.3	▲ 19.8	▲ 25.9	▲ 32.0	▲ 69.8	▲ 60.9	▲ 48.9	▲ 50.3	▲ 19.4	▲ 35.0	▲ 25.3	▲ 11.0
全体		▲ 19.7	▲ 15.8	▲ 19.9	▲ 26.1	▲ 34.0	▲ 70.5	▲ 62.8	▲ 51.6	▲ 50.0	▲ 17.2	▲ 28.9	▲ 21.2	▲ 8.9
製	造業	▲ 16.9	▲ 14.3	▲ 20.2	▲ 26.9	▲ 39.5	▲ 72.7	▲ 68.7	▲ 59.9	▲ 48.9	▲ 10.7	▲ 10.4	▲ 8.9	▲ 2.5
	繊維工業	▲ 18.8	▲ 14.9	▲ 23.2	▲ 32.5	▲ 42.1	▲ 79.3	▲ 70.8	▲ 67.1	▲ 63.9	▲ 28.8	▲ 17.1	▲ 16.3	▲ 9.7
	化学	▲ 2.7	11.3	▲ 11.3	▲ 19.4	▲ 28.1	▲ 63.1	▲ 48.5	▲ 48.5	▲ 31.0	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 4.3	10.0
	食料品	▲ 23.7	▲ 12.1	▲ 21.5	▲ 24.8	▲ 37.3	▲ 77.9	▲ 62.3	▲ 50.3	▲ 54.8	▲ 8.6	▲ 32.0	▲ 19.5	4.9
	金属製品	▲ 9.7	▲ 16.6	▲ 16.4	▲ 29.5	▲ 39.7	▲ 66.4	▲ 71.2	▲ 65.7	▲ 43.1	▲ 2.3	6.5	7.7	6.6
	機械器具	▲ 9.3	▲ 21.0	▲ 26.7	▲ 36.7	▲ 45.6	▲ 67.5	▲ 70.3	▲ 63.8	▲ 45.4	▲ 11.3	6.4	9.5	0.9
	電気·情報通信機 械器具·電子部品	▲ 18.1	▲ 26.4	▲ 26.5	▲ 28.6	▲ 38.9	▲ 62.2	▲ 65.0	▲ 49.8	▲ 38.3	▲ 16.1	3.8	▲ 3.8	▲ 1.6
非	製造業	▲ 20.6	▲ 16.3	▲ 19.8	▲ 25.9	▲ 32.0	▲ 69.8	▲ 60.9	▲ 48.9	▲ 50.3	▲ 19.4	▲ 35.0	▲ 25.3	▲ 11.0
	建設業	▲ 4.4	▲ 4.7	▲ 2.7	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 41.2	▲ 38.1	▲ 29.0	▲ 24.9	▲ 18.6	▲ 20.5	▲ 17.5	▲ 21.1
	小売業	▲ 33.6	▲ 28.3	▲ 33.3	▲ 41.2	▲ 43.3	▲ 73.9	▲ 63.4	▲ 51.0	▲ 52.6	▲ 26.3	▲ 43.8	▲ 33.4	▲ 17.3
	サービス	▲ 17.4	▲ 11.3	▲ 15.9	▲ 20.9	▲ 29.7	▲ 77.5	▲ 67.0	▲ 54.3	▲ 59.0	▲ 15.8	▲ 35.9	▲ 23.9	▲ 4.1



⑧[中小企業]経常利益DI(増加一減少)

⑧経常利益DI(好転-悪化)

【中小企業庁】

	年		19	年			20	年			22年			
	期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
		現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し
全	体	▲ 23.4	▲ 20.7	▲ 21.9	▲ 26.2	▲ 32.9	▲ 64.1	▲ 55.4	▲ 45.2	▲ 43.8	▲ 27.2	▲ 33.7	▲ 29.6	▲ 21.8
製	造業	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 21.9	▲ 26.8	▲ 36.2	▲ 65.9	▲ 62.3	▲ 51.9	▲ 42.9	▲ 20.9	▲ 21.0	▲ 20.8	▲ 17.1
非	製造業	▲ 23.7	▲ 21.0	▲ 21.9	▲ 26.1	▲ 31.8	▲ 63.5	▲ 53.3	▲ 43.1	4 4.0	▲ 29.3	▲ 37.9	▲ 32.4	▲ 23.5
全	体	▲ 23.4	▲ 20.7	▲ 21.9	▲ 26.2	▲ 32.9	▲ 64.1	▲ 55.4	▲ 45.2	▲ 43.8	▲ 27.2	▲ 33.7	▲ 29.6	▲ 21.8
	製造業	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 21.9	▲ 26.8	▲ 36.2	▲ 65.9	▲ 62.3	▲ 51.9	▲ 42.9	▲ 20.9	▲ 21.0	▲ 20.8	▲ 17.1
	繊維工業	▲ 23.8	▲ 20.1	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 35.1	▲ 69.4	▲ 63.0	▲ 57.6	▲ 53.9	▲ 33.9	▲ 27.9	▲ 28.6	▲ 24.0
	化学	▲ 1.3	1.4	▲ 8.5	▲ 18.1	▲ 31.0	▲ 53.0	▲ 52.2	▲ 41.1	▲ 25.3	▲ 4.1	4 .0	0.0	0.0
	食料品	▲ 26.5	▲ 19.7	▲ 24.7	▲ 27.4	▲ 35.0	▲ 71.4	▲ 56.6	▲ 43.4	▲ 45.3	▲ 26.2	▲ 37.5	▲ 32.3	▲ 16.9
	金属製品	▲ 14.4	▲ 19.1	▲ 17.3	▲ 26.6	▲ 33.4	▲ 58.7	▲ 63.5	▲ 55.9	▲ 35.6	▲ 11.5	▲ 7.5	▲ 9.9	▲ 10.2
	機械器具	▲ 12.6	▲ 19.1	▲ 23.0	▲ 33.0	▲ 42.7	▲ 62.6	▲ 66.0	▲ 60.4	▲ 45.3	▲ 21.7	▲ 11.7	▲ 7.6	▲ 11.9
	電気·情報通信機 械器具·電子部品	▲ 25.4	▲ 26.9	▲ 25.5	▲ 24.6	▲ 38.7	▲ 59.6	▲ 60.6	▲ 49.0	▲ 35.8	▲ 21.1	▲ 8.8	▲ 14.8	▲ 13.3
	非製造業	▲ 23.7	▲ 21.0	▲ 21.9	▲ 26.1	▲ 31.8	▲ 63.5	▲ 53.3	▲ 43.1	4 4.0	▲ 29.3	▲ 37.9	▲ 32.4	▲ 23.5
	建設業	▲ 11.9	▲ 9.4	▲ 9.0	▲ 11.2	▲ 15.2	▲ 37.2	▲ 32.9	▲ 28.1	▲ 22.7	▲ 21.7	▲ 27.1	▲ 25.1	▲ 26.5
	小売業	▲ 31.7	▲ 30.7	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 39.7	▲ 67.3	▲ 54.7	▲ 44.6	▲ 46.2	▲ 36.3	▲ 46.0	▲ 39.8	▲ 29.1
	サービス	▲ 22.5	▲ 17.8	▲ 19.9	▲ 23.8	▲ 31.7	▲ 70.7	▲ 59.0	▲ 47.3	▲ 51.8	▲ 29.0	▲ 38.6	▲ 31.5	▲ 19.3



⑨[中小企業]生產設備DI(過剰-不足)

⑨生産設備DI(過剰-不足)

【中小企業庁】生産設備DI

	年 19年						20	年		21年				
	期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	
		現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	
全体	ķ	_	_	_	_	_	_	-	-	_	_	_	_	
製造	業	▲ 5.1	▲ 5.2	▲ 3.9	▲ 3.2	▲ 1.1	8.2	7.3	4.8	1.1	▲ 1.0	▲ 2.2	▲ 4.6	
非象	退 造業	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全体	x	_	_	_	_	_	_	-	-	_		_	_	
1	製造業	▲ 5.1	▲ 5.2	▲ 3.9	▲ 3.2	▲ 1.1	8.2	7.3	4.8	1.1	▲ 1.0	▲ 2.2	▲ 4.6	
	繊維工業	▲ 2.8	▲ 5.0	▲ 0.5	▲ 0.5	2.8	13.7	13.4	14.5	10.5	12.5	9.7	6.1	
	化学	▲ 13.5	▲ 7.1	▲ 4.3	▲ 9.9	0.0	▲ 1.4	8.8	0.0	▲ 4.3	▲ 4.1	▲ 5.5	▲ 4.3	
	食料品	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 8.9	▲ 8.4	▲ 6.4	3.4	▲ 1.6	▲ 4.8	▲ 2.0	▲ 4.8	▲ 4.5	▲ 10.3	
	金属製品	▲ 5.3	▲ 8.3	▲ 4.8	▲ 1.4	1.2	12.9	11.8	8.7	1.8	▲ 5.5	▲ 8.1	▲ 8.9	
	機械器具	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 5.4	▲ 2.2	▲ 0.5	10.7	10.3	8.5	▲ 0.2	▲ 3.0	▲ 5.9	▲ 6.8	
	電気·情報通信機 械器具·電子部品	0.6	1.6	4.2	3.8	3.8	7.3	13.3	8.7	2.2	5.6	▲ 1.7	▲ 1.7	
1	非製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	建設業	_	-	_	-	-	-	_	_	-	_	-	-	
	小売業	_	-	_	-	-	-	_	_	-	_	-	-	
	サービス	_	-	_	-	-	-	_	-	-	_	-	_	



⑩[中小企業]従業員数DI(過剰-不足)

⑩従業員数DI(過剰-不足)

【中小企業庁】従業員数DI

		年		19	年			20	年			22年			
		期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
			現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し
全	体		▲ 22.5	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 21.4	▲ 18.1	▲ 1.1	▲ 6.6	▲ 10.9	▲ 9.8	▲ 10.5	▲ 12.7	▲ 17.4	▲ 2.8
製	製造業		▲ 21.4	▲ 18.3	▲ 17.5	▲ 15.7	▲ 11.9	10.8	5.2	0.2	▲ 3.7	▲ 7.0	▲ 10.5	▲ 15.5	▲ 2.7
非	非製造業		▲ 22.8	▲ 22.7	▲ 23.2	▲ 23.3	▲ 20.2	▲ 5.1	▲ 10.5	▲ 14.6	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.4	▲ 18.1	▲ 2.8
全	 全体		▲ 22.5	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 21.4	▲ 18.1	▲ 1.1	▲ 6.6	▲ 10.9	▲ 9.8	▲ 10.5	▲ 12.7	▲ 17.4	▲ 2.8
	製	造業	▲ 21.4	▲ 18.3	▲ 17.5	▲ 15.7	▲ 11.9	10.8	5.2	0.2	▲ 3.7	▲ 7.0	▲ 10.5	▲ 15.5	▲ 2.7
		繊維工業	1 9.8	▲ 20.0	▲ 19.7	▲ 12.8	▲ 13.2	14.9	9.6	6.7	3.3	2.0	▲ 2.3	▲ 8.1	▲ 9.0
		化学	▲ 21.9	▲ 12.7	▲ 16.6	▲ 11.2	▲ 7.0	2.9	8.7	7.3	1.4	0.0	▲ 2.8	▲ 7.2	12.9
		食料品	▲ 21.7	▲ 21.0	▲ 22.0	▲ 20.8	▲ 15.6	7.4	▲ 3.7	▲ 10.8	▲ 3.6	▲ 7.2	▲ 7.8	▲ 16.2	▲ 4.9
		金属製品	▲ 26.4	▲ 24.4	▲ 20.8	▲ 16.9	▲ 12.9	11.9	6.8	▲ 0.2	▲ 10.5	▲ 13.0	▲ 20.0	▲ 24.0	2.2
		機械器具	▲ 28.5	▲ 20.0	▲ 17.8	▲ 16.3	▲ 12.5	10.8	9.7	5.5	▲ 7.9	▲ 12.2	▲ 19.6	▲ 24.0	▲ 0.4
		電気·情報通信機 械器具·電子部品	▲ 9.4	▲ 6.4	▲ 6.8	▲ 4.3	▲ 3.7	16.9	15.0	11.3	3.3	▲ 2.2	▲ 13.4	▲ 19.9	▲ 0.6
	非	製造業	▲ 22.8	▲ 22.7	▲ 23.2	▲ 23.3	▲ 20.2	▲ 5.1	▲ 10.5	▲ 14.6	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.4	▲ 18.1	▲ 2.8
		建設業	▲ 39.0	▲ 38.0	▲ 42.3	▲ 41.5	▲ 37.6	▲ 24.3	▲ 28.8	▲ 33.3	▲ 31.2	▲ 29.2	▲ 33.4	▲ 35.0	▲ 3.7
		小売業	▲ 12.7	▲ 12.7	▲ 11.9	▲ 12.0	▲ 11.2	▲ 2.5	▲ 6.2	▲ 8.2	▲ 6.8	▲ 6.6	▲ 5.5	▲ 10.0	▲ 2.9
		サービス	▲ 24.6	▲ 25.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.7	▲ 1.1	▲ 8.4	1 4.3	▲ 9.2	▲ 9.8	▲ 12.3	▲ 18.3	▲ 2.5

